

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：新編論理国語 東京書籍

教科 国語	の目標：
【知識及び技能】	文章を正確に理解し、語彙力や文法の知識を駆使して、論理的な文章を構築する能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	文章に対して批判的・創造的に思考し、論理的に自分の意見を表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	積極的に学び、他者との協同作業や意見交換を通じて、社会で必要とされるコミュニケーション能力や感受性を育む。
科目 論理国語	の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元①】 読む ロボットが隣人になるとき	1「意志」「自由」という言葉の意味に注意しながら、本文を通読する。（手引き1） 2「この問いは、単純な技術の問題ではない。」とあるが、なぜそういえるのかを読み取る。（手引き2） 3「近年のAIの発展はこのイメージを崩しつつある。」とは、どのようなことかを読み取る。（手引き3）	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。				8
	【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深められるようにする。	1「『意志』と『欲求』を比較してみよう。」とあるが、意志と欲求はどのように異なるのか読み取り、まとめる。（手引き4） 2「『意志』というのは約束に似ている」（P223・3）と筆者が考えるのはなぜか、読み取る。 3「ロボットは社会的な存在になれるだろうか。」（P224・5）という問いに対する筆者の考えを読み取る。					
	【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める力を育成する。	1「そうはならないだろう。」とあるが、ここで述べられているようなロボットが「自分の意志で自由に行動する」といえないのはなぜか読み取り、まとめる。（手引き5） 2「対等の隣人」とあるが、どのような点で対等なのか、筆者の考えを読み取る。（手引き6） 3「的確に表現するために」を読み、自分の考えを相手に的確に伝えるための表現について理解する。（言葉の扉④……的確に表現するために）		○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の哲学的な思考を、「自由意志を持ったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し、学習課題に沿って人間の意志や自由について考えを深め、意見を述べようとする姿勢を育む。	1本文の論証について、任意の部分を選んで反論を考え、まとめる。（論理の力） 2筆者が考えるような「自分の意志で自由に行動するロボット」が生まれることは望ましいと考えるかどうか、話し合う。（言語活動）	【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に筆者の哲学的な思考を、「自由意志を持ったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し、学習課題に沿って人間の意志や自由について考えを深め、意見を述べようとしている。				
	【単元②】	1本文を通読して、話の進め方について調べたいことを発表する。（手引き1）	【知識・技能】				

読む カフェの開店準備 【知識及び技能】 - 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 - 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する力を育成する。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える力を育成する。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることでその考えを理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ、話し合おうとする姿勢を育む。	2 具体例を挙げて説明している部分を指摘する。（論理の力） 3 第一・二段に書かれている「喫茶店の開店準備」を巡っての筆者の考えを理解する。（手引き 2-1） 1 楽器の演奏に関する考察について理解する。 2 「現在」（「過去」「未来」も含め）というものについての筆者の考えを理解し、そのことについて話し合う。（手引き 2-2） 3 「行為の習慣化」について、筆者の考えをもとにして考える。（手引き 2-3） 1 「痕跡の残らない行為」に対する筆者の考えを理解し、そのことについてどう思うかを話し合う。（手引き 3） 2 日常生活の在り方について考え、四百字程度の文章にまとめ、話し合う。（言語活動） 3 「紛らわしい漢字」を通読し、識別の方法を理解した後、間違えやすい熟語や同音異義語の例についても併せて確認する。（言葉の扉③……紛らわしい漢字）	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることでその考えを理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ、話し合おうとしている。				7
読む もう一つの知性 【知識及び技能】 - 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 - 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 - 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができるようにする。	1 「情報化社会」とはどのような社会を言うのか。また、情報化社会で重要なことは何か、意見を述べ合う。 2 各段に述べられている「知の在り方」に注意しながら、本文を通読する。（手引き 1） 3 第一段 P272・5行目までを音読し、表現に即して内容を読み取る。 4 第一段の後半部分を音読し、例として挙げられている事項・用語を「情報通」と「知性」の二つのグループに分類する。（手引き 2） 5 「この小学生がお父さんより知的な人間とはいえない」といえる根拠として、本文で述べられていることをまとめる。（論理の力） 6 「血肉になっているような情報」「服のポケットにたくさんの紙片を詰め込んでいるような知性」などの比喩表現を理解する。 1 第二段を読み、冒頭部分を中心に、筆者が考える本来の「知性」の在り方をまとめる。 2 アメリカの先住民や医療現場の話を目材に、科学技術の発達とともに知性がどう変化したか、またトルストイの人生論の話は、どのようなことを説明する目的で紹介されているのかを考えてまとめる。（手引き 3）	【知識・技能】 - 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 - 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 - 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握している。 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から内容を				7

【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める力を育成する。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に論拠をたどることで筆者の述べる本来の「知性」の在り方を理解し、今までの学習を生かして自分たちが現代社会を生きるうえで筆者の提案をどのように結び付けることができるか、話し合おうとする姿勢を育む。	1 第三段を読み、冒頭の一文の役割を確認するとともに、P276・1行目までを読み、「プリコラージュ」的な知とはどのような知の在り方を言うのか、読み取る。（手引き4） 2 後半部分を読み、本教材における筆者の主張を理解する。（手引き5） 3 筆者の提案する「『プリコラージュ』的な知の可能性」を、自分たちの生活にどう生かせるか、話し合う。（言語活動1） 1 本文に述べられている筆者の意見についてどのように考えるか、六百字程度の文章にまとめ、互いに読み合う。（言語活動2） 2 現代社会に関するさまざまな話題を取り上げた本を読み、現代を生きるために必要な視点について捉える。（ブックガイド②……現代を生きるために）	「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に論拠をたどることで筆者の述べる本来の「知性」の在り方を理解し、今までの学習を生かして自分たちが現代社会を生きるうえで筆者の提案をどのように結び付けることができるか、話し合おうとしている。				
【単元5】 中間考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
【単元6】 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
【単元7】 読む 鏡としてのアンドロイド 【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	1 取り上げられている話題に注意して、本文を通読する。（手引き1） 2 本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考える。（論理の力） 3 「技術開発」にもたらす「新たな意味」とは何かを読み取る。 1 「それが自分の脳であることは論理的には理解できる」とは、どのようなことか、読み取る。（手引き2）	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】				

2 学 期	読むことができることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。	2 「他人は、自分を映しだす鏡のようなものだ」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き3) 3 「乏しい表情」と「止まったアンドロイドのような完全な無表情」とは、どのように違うのか、違いをまとめる。(手引き4) 4 「私の研究は自虐的かもしれない。」とあるが、どのような点が「自虐的」だというのか、読み取る。(手引き5) 5 「心は自分と他人を取り巻くさまざまな状況の中に分散している」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き6) 6 「人間についての根本的な疑問」と「創造的な活動」との関係を読み取る。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなから要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。	○	○	○	7
	【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなから要旨を把握できる力を育成する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める力を育成する。	<第3時> 1 「何かを作りだす」ことについての筆者の考えを読み取る。 2 筆者の考えを参考にしながら、「何かを作ること」とは、どのようなことであると考えられるか、話し合う。(言語活動)	【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】 進んで話題に注意して文章を読み、今までの学習を生かして筆者の研究を踏まえた人間に対する考えを理解したうえで、自分の意見を述べようとする姿勢を育む。		進んで話題に注意して文章を読み、今までの学習を生かして筆者の研究を踏まえた人間に対する考えを理解したうえで、自分の意見を述べようとしている。				
	【単元(8)】 読む 豊かさと生物多様性	1 三つの意味段落で述べられている筆者の考えを押さえながら、本文を通読する。(手引き1) 2 本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考え、まとめる。(論理の力) 3 生物多様性を大切にすることによって必要となる発想について、具体的に読み取り、まとめる。(手引き2)	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。				
	【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。	1 多様な生物によって作られている生態系を大切にすることについて読み取り、まとめる。(手引き3) 2 生物多様性保全の課題として挙げられている「南北問題」の内容を読み取り、まとめる。(手引き4) 3 生物多様性についての「質と量」の問題と、それに対する筆者の考えについて読み取り、まとめる。(手引き5)	【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなから要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めている。	○	○	○	7
	【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなから要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深める力を育成する。	1 筆者の考える、生物多様性を大切にするために必要なことをまとめる。 2 生物多様性を大切にすることについて、考えたことを話し合う。(手引き6)	【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性と課題について	1 「『真の価値』を求めて」を通読し、「豊かさと生物多様性」の筆者が何に価値を見いだしているのか、本文から読み	粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性と課題について				

	唯一の正解、正物多様性の男女はこれ問題について、学習課題に沿ってまとめ、理解を深めようとする姿勢を育む。	取り、まとめる。（考える楽しみ②……「『真の価値』を求めて」） 2 現代という時代に、何に価値があると思うか、考えたことについてまとめる。	て、学習課題に沿ってまとめ、理解を深めようとしている。				
	【単元9】 読む 物語の外から 【知識及び技能】 - 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 - 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する力を育成する。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者が述べる「自己」と「物語」の関係捉え、学習課題に沿って「語る」ことの本質について、自分の体験と結び付けながら考えをまとめ、理解を深めようとする姿勢を育む。	1 二人の「語り」の場面で筆者が感じたことに注意しながら、本文を通読する。（手引き1） 2 本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」に意識した質問を考え、まとめる。（論理の力） 1 筆者の考える、語り部の男性が「一言も出せなくなり、ただ狼狽して、黙り込んでしまった」理由を読み取り、まとめる。（手引き2） 2 第一段の語り部の男性と、第二段の語り部の女性の行動や様子をまとめ、「語り」について理解する。（手引き3） 1 「物語」と「自己」との関係を理解する。（手引き4） 2 「自己というものはさまざまな物語の寄せ集めである。」について理解する。（手引き5）	【知識・技能】 - 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 - 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に筆者が述べる「自己」と「物語」の関係捉え、学習課題に沿って「語る」ことの本質について、自分の体験と結び付けながら考えをまとめ、理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	【単元11】 中間考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	【単元12】 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	【単元13】 書く 短い論文を書いて読み合おう	1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。 2 資料を読んで自分の考えを短い論文にまとめ、読み合った例を参考に、学習の	【知識・技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方				

3 学 期	【知識及び技能】 - 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができるようにする。 - 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決める力を育成する。 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する力を育成する。 「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直す力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報の収集や整理を行い、適切な資料を選んだうえで問いを持ち、今までの学習を生かして構成や展開を工夫して書いた論文を読み合い、交換した意見を踏まえて、よりよい論文に仕上げようとする姿勢を育む。	進め方を理解する。 1 「課題」(P208)の中から話題の一つを選び、実際にその話題に関する説論文や関連資料を収集する。 2 収集した資料を読み、自分の問題意識に根差しているかなど、論じる視点を考えて、適切な資料を選ぶ。 3 資料から読み取ったことをもとに、自分の意見をまとめる。 1 グループに分かれ、書いた論文を発表し合う。聞き手はチェックシート(P208)などを用いて、論文に対する意見を記す。 2 それぞれが書いた論文に対する意見を交換する。 1 交換した意見や、チェックシートの内容を踏まえ、自分の論文を読み返し、課題を捉え直したうえで、論文を書き直し、よりよいものに仕上げる。 2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、課題について各項目が達成できているかを確認する	と、又草の構成や展開の仕方について理解を深めている。 - 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報の収集や整理を行い、適切な資料を選んだうえで問いを持ち、今までの学習を生かして構成や展開を工夫して書いた論文を読み合い、交換した意見を踏まえて、よりよい論文に仕上げようとしている。	○	○	○	11
	【単元④】 読む 言葉は「ものの名前」ではない 【知識及び技能】 - 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 - 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握する力を育成する。 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める力を育成する。	1 言葉と「もの」の関係に注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 2 第一段を読んで、「ギリシャ以来の伝統的な言語観」がどのようなものなのかを理解する。(手引き2) 1 第二段第一節を読んで、「羊」や「devilfish『悪魔の魚』」の例をもとに、「ギリシャ以来の伝統的な言語観」の問題点を理解する。(手引き3) 2 第二段第二節を読んで、具体例をもとに、言葉の「意味の幅」がどのように決まるのかを確認し、「もの」と言葉の関係を理解する。(手引き4・5) 1 ソシユールの言語観をまとめる。(手引き6) 2 本文で、筆者は言語についてのどのような考えに反対しているのか、まとめる。(論理の力)	【知識・技能】 - 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 - 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握している。 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。	○	○	○	11

	【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って言葉の働きについて考えをまとめ，話し合おうとする姿勢を育む。	1 日本語と英語の場合について，筆者の考えを表す具体例を，本文以外の例で考え，話し合う。（言語活動）	【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って言葉の働きについて考えをまとめ，話し合おうとしている。				
	【単元20】 学年末考査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
							70

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 国語 科目 表現の探求

教科：国語 科目：表現の探求 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：大修館書店 国語表現 基礎練習ノート

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 文章を正確に理解し、語彙力や文法の知識を駆使して、論理的な文章を構築する能力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 文章に対して批判的・創造的に思考し、論理的に自分の意見を表現する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学び、他者との協同作業や意見交換を通じて、社会で必要とされるコミュニケーション能力や感受性を育む。

科目 表現の探求 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得する。	テーマに対して自分の意見を思考し表現する。	積極的に意見交換をし、学びを深める。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元1】 表現の基礎		【知識・技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得できている。				
	【知識及び技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得する。	・文章を書くうえで必要となる仮名遣い、送り仮名、慣用表現を学ばせる。	【思考・判断・表現】 テーマに対して自分の意見を思考し、表現している。	○	○	○	2
	【思考力、判断力、表現力等】 テーマに対して自分の意見を思考し表現する。	・四字熟語を調べ、ワークシートに四字熟語で自分の目標、その理由を書かせる。					
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	・自分の書いたものを周りと共有する。	【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に周りと意見共有をし、考えを深めている。				
	【単元2】 表現の基礎	・自分を見つめ直す。	【知識・技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得できている。				
	【知識及び技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得する。	・ワークシートに自分の長所、短所、力を入れたこと、またそれに伴う具体的なエピソードを記入させる。	【思考・判断・表現】 テーマに対して自分の意見を思考し、表現できている。	○	○	○	5
	【思考力、判断力、表現力等】 テーマに対して自分の意見を思考し表現する。	・意見を共有させる。					
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	・国語表現ノートを使用し、表現に必要な基礎知識を習得させる。	【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に周りと意見共有をし、考えを深められる。				
	【単元3】 表現の基礎	・原稿用紙の使い方、小論文の書き方を学ばせる。	【知識・技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得できている。				
	【知識及び技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得する。	・国語表現ノートを使用し、表現に必要な基礎知識を習得させる。	【思考・判断・表現】 テーマに対して自分の意見を思考し、表現できている。	○	○	○	4
	【思考力、判断力、表現力等】 テーマに対して自分の意見を思考し表現する。	・テーマを選び、それに沿った自分の意見を思考し表現する。					
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	・意見交換をし、反論を考えさせる。	【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に意見交換をし、学びを深める。				
	【単元4】 表現の実践		【知識・技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得できている。				
	【知識及び技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得する。	・日常生活から興味関心のあるテーマを決める。	【思考・判断・表現】 テーマに対して自分の意見を思考し、表現できている。	○	○	○	10

	【思考力、判断力、表現力等】 テーマに対して自分の意見を思考し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	・動機メモを作り意見交換をする。 ・意見交換後に深まった考えを文章にする。	思考し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	○	○	○	10
2学期	【単元(7)】 表現の実践 【知識及び技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマに対して自分の意見を思考し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	・日常生活から興味関心のあるテーマを決める。 ・動機メモを作り意見交換をする。 ・意見交換後に深まった考えを文章にする。	【知識・技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得できている。 【思考・判断・表現】 テーマに対して自分の意見を思考し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	○	○	○	20
	【単元(8)】 意見文を書く 【知識及び技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマに対して自分の意見を思考し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	・日常で気になっていることを意見交換し、自分のテーマを決める。 ・テーマについて知りたいことを考え、取材計画を立てる。 ・取材メモをもとに自分の考えを文章にまとめる。	【知識・技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得できている。 【思考・判断・表現】 テーマに対して自分の意見を思考し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	○	○	○	15
3学期	【単元(13)】 体験から物語へ 【知識及び技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマに対して自分の意見を思考し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	・自分自身の体験を振り返り文章にまとめる。 ・物語の構想を練る。 ・作った物語をグループ内で共有させる。	【知識・技能】 文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得できている。 【思考・判断・表現】 テーマに対して自分の意見を思考し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に意見交換をし、学びを深める。	○	○	○	14
							70

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 地理歴史 科目 日本史探求

教科： 地理歴史 科目： 日本史探求 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： 7 実教日探703 精選日本史探求

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 歴史的事象や地理的現象を正確に理解し、それに基づいた知識を活用する能力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事実や地理的データを分析し、自分の見解を論理的に整理して表現する力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 自ら学ぶ姿勢を持ち、歴史や地理を通じて社会や文化の多様性に対する理解と共感を深める。

科目 日本史探求 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史が世界の一部として成り立っていることを理解し、伝統や文化について深く理解する。また、調査や資料を使って情報を上手にまとめる技能を身につける。	日本の歴史にまつわる事象について考え、幅広い分野から現代とのつながりを探求する能力を養う。過去の歴史から課題・問題を見つけ、それを現代と結び付けて考え、判断する力を育成する。調べた内容をわかりやすく説明する表現力を養う。	生徒が主体的に考える授業を行い、日本史が「楽しい」、「学びたい」という気持ちを育む。日本を深く理解することで他国との違いを認識し、他国や他の文化を尊重する気持ちが強くなる人間性を培う。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元①】 第1章 国家と文化の形成 【知識及び技能】 ・人類の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代を理解する。 ・大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布をふまえて、弥生文化の形成を考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。	(1) 列島にくらしはじめた人々 (2) 農耕がうまれる (3) クニがうまれる (4) ヤマト政権の形成 (5) 倭の五王と氏姓制度	【知識・技能】 ・国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 ・黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などをふまえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 ・小国の形成から邪馬台国などの小国連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢をふまえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人類の誕生から日本列島に人々が定住するまでの流れを主体的に追究して、人類と地球との共生をいかに図っていくかという今日的な学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	【単元②】 第2章 古代国家の確立 【知識及び技能】 ・地域の首長の出現から統一国家にいたる過程を、古墳の変容からとらえる。 ・飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。 ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について理解する。 ・天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して古代国家の展開を理解する。 ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。	(6) 飛鳥の朝廷 (7) 大化改新から壬申の乱へ (8) 律令国家の形成 (9) 東アジアのなかの天平文化 (10) 奈良時代の政治と社会 (11) 平安時代初期の政治と文化 (12) 摂関政治と国風文化 (13) 摂関期の社会と経済	【知識・技能】 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解する。 ・平城京における律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会とのかかわりなどに着目して理解している。 ・藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】 ・中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	

【学びに向かう力、人間性等】 ・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係をふまえて考察する。 ・律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。		・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。 ・唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通して、摂関政治の社会の特色を明らかにしようとしている。				
【単元(3)】 中間調査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
【単元(4)】 第3章 中世社会の成立 【知識及び技能】 ・院政期前後の土地支配形態をふまえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ・承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立にいたる過程を理解する、 【思考力、判断力、表現力等】 ・外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革をすすめた背景を考察する。 ・鎌倉幕府の成立時期をめぐる所説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。 ・モンゴル来襲による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。 ・武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するにいたった過程を考察する。 ・非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意義を考察する。	(14) 院政と中世荘園 (15) 奥州藤原氏と平氏 (16) 治承・寿永の乱と鎌倉幕府 (17) 承久の乱と公武関係 (18) 地頭・御家人と荘園制の変質 (19) 鎌倉幕府の経済・産業と自然環境 (20) モンゴル襲来と日宋・日元交流 (21) 社会の変動と鎌倉幕府の滅亡	【知識・技能】 ・貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 ・平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料からさまざまな情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 ・承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ・宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 ・武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転機について根拠を示して表現している。 ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 ・武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。 ・古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。 ・鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。 ・公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
【単元(5)】 第4章 中世社会の展開	(22) 南北朝の内乱 (23) 足利義満と室町幕府 (24) 東アジアの海をゆきかう人々 (25) 惣村と一揆 (26) 戦国時代の幕あけ (27) 室町・戦国時代の流通経済 (28) 戦国時代の政治と社会	【知識・技能】 ・「室町幕府はどのようにして政治体制をととのえていったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取り、表現している。				

	【知識及び技能】 ・「南北朝の動乱と室町幕府の成立」に関する課題を設定し、資料を用いて事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立にかけての幕府と朝廷の動きについて理解する。		【思考・判断・表現】 ・「武家政権と朝廷の関係はどのように変化したのだろうか」などの課題について、社会や経済の変化とその影響などに着目して考察し、その結果を表現している。	○	○	○	8
	【思考力、判断力、表現力等】 ・「倭寇と東アジア国際交流」に関する課題を設定し、資料を用いて事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して室町時代の外交関係について理解する。		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・「自立する戦国大名」に関する課題を設定し、資料を用いて事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して戦国大名の分国支配の発達について理解する。 ・「戦国時代はどのようにして始まったのか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。		・「武家支配の広がり」と国際交流に関する課題をふまえて見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・現在の日本の地域産業で室町時代に起源をもつものをさぐり、昔と今との関係を探るという学習上の課題を解決しようとしている。				
	【単元(6)】 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
2 学 期	【単元(7)】 第5章 統一政権の成立 【知識及び技能】 ・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などとともに、中世から近世への時代の転換を理解する。 ・江戸時代の身分制、都市と町の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヨーロッパ世界とのかかわりについて貿易、宗教、文化の観点から説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・江戸幕府と諸藩の政策の特徴や違いを地図や絵、史料を使い多角的に考察する。	(29) 「南蛮」との出逢い (30) 織豊政権の全国統一 (31) 東アジアの変動と豊臣政権 (32) 江戸幕府の支配の仕組み (33) 江戸時代の対外関係 (34) 身分制と村・町の生活	【知識・技能】 ・織田信長と豊臣秀吉の政策の意義を多面的・多角的に考察することができる。 ・徳川家康が権力を手中におさめる過程を説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・「豊臣秀吉の死後、なぜ関ヶ原の戦いが起きたのだろうか」という問いに対し多面的・多角的に考察することができる。 ・豊臣秀吉の宗教政策、その後の関ヶ原の戦いの政治的意義を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・外国人が見た「日本」の近世を資料に基づいて多角的に考察することができる。 ・鉄砲伝来に関し、なぜポルトガル人は中国の倭寇船に乗ってきたのだろうか。大航海時代という言葉はヨーロッパを中心とする概念だが、これらの問題点を考え、アジアに立脚点をおいて考えるという学習上の課題を解決しようとしている。 ・アジアや西洋諸国との関係、「鎖国」政策や四つの窓などから近世日本の外交について、多面的・多角的に考察することができる。	○	○	○	8
	【単元(8)】 第6章 幕藩体制の展開 【知識及び技能】 ・法や制度による支配秩序の形成と身分制 貿易の統制と対外関係 技術の向	(35) 幕府政治の転換 (36) 産業の発展 (37) 交通網の発達と都市の繁栄 (38) 徳川吉宗・田沼意次と財政問題 (39) 商品経済の発達と民衆の運動 (40) 寛政の改革と欧米諸国の日本接近 (41) 江戸時代後期の学問・文化 (42) 天保の改革	【知識・技能】 ・p114の絵①をみて、かぶき者の増えた理由や異様な格好をしている背景を説明することができる。 ・p118の地図①や絵③をみて、当時の五街道をはじめ幹線道路の発展、河川や海上の交通の発展について説明することができる。 ・p129のTopic「現在の天皇家と光格天皇」をみて、江戸時代における天皇家について説明することができる。 【思考・判断・表現】				

		【主体的に学習に取り組む態度】				
【学びに向かう力、人間性等】		・幕末は人気のある時代であるが、それはなぜなのだろうか。現代人の歴史意識を検討して、考えるという学習上の課題を解決しようとしている。				
【単元①】 第8章 大日本帝国と民主主義	(52) 日清戦争 (53) 1900年前後の世界と東アジア (54) 日露戦争 (55) 社会問題と地域社会 (56) 大正民主主義 (57) 第一次世界大戦と日本 (58) 資本主義の成長 (59) 改造の時代 (60) 植民地	【知識・技能】 ・明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などをもとに、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 ・p164の表③の「条約改正のあゆみ」をみて、条約改正の責任者や交渉内容について説明することができる。 ・p168の絵①「日本とロシアの対立の風刺」をみて、描かれている内容や描かれている国々がどこかを説明することができる。 ・p174の地図①「第一次世界大戦ごろの国際関係」をみて、連合国側と同盟国側の構成を説明することができる。				
【知識及び技能】 ・近代から現代にいたる国家や社会の展開について、主題を設定し、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを通じて思考力、判断力、表現力等の育成をはかりつつ、近現代がどのような時代であったかを構造的にとらえる。 ・日清・日露戦争、第一次世界大戦については、戦争が及ぼした影響などを理解する。		【思考・判断・表現】 ・アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性を多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期等を根拠を示して表現している。 ・「帝国主義時代の国と国との関係の特徴は何か、話し合ってみよう」という問いに対し、多面的・多角的に考察することができる。 ・「資本主義の成長は都市・農村の社会をどのようにかえていったのだろうか」という問いに対し、多面的・多角的に考察することができる。	○	○	○	12
【思考力、判断力、表現力等】 ・この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的な地位の変化などについて、推移や展開を考察するための課題を設定し、それぞれの講義と条約などから、形成される国際秩序と我が国の関わり、近隣諸国、諸地域との関係について確認する。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・「あなたは、当時の様々な立場の人々が日本のおかれた状況やあるべき姿をどのように意識していたと考えられるか」などの、諸事象の解釈や画期を考察し、表現するための課題を設定して、世界を認識したこの時代の人々の意識や判断を考察する学習や、「あなたは、地域社会が近代化をむかえたのはいつだと考えるか、またそれはなぜか」、「あなたは、対外的な戦争は日本の近代化の過程の中で、どのような意味をもったと考えられるか」などの課題を設定して、地域における近代国家の形成についてそれぞれの考えを表現して根拠をもとに議論したり、戦争がもたらした国内的、国際的な変化それぞれの重要性や相互の関係について根拠をもとに考察したことを表現したりするといった学習が考えられる。				
【学びに向かう力、人間性等】						
【単元②】 期末考査		【知識・技能】				
【知識及び技能】		【思考・判断・表現】				
【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
【学びに向かう力、人間性等】						

3 学期	【単元13】 第9章 アジアの戦争と第二次世界大戦	(61) 普通選挙と治安維持法 (62) 大日本帝国の選択肢 (63) 満洲事変とモダニズム (64) 日中戦争と総力戦 (65) アジア太平洋戦争 (66) 敗戦	【知識・技能】 ・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦にいたる過程および大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 ・ p 189の地図③「北伐と山東出兵」をみて、中国国内の動向と日本との関係を説明することができる。 ・ p 194～195の本文記述をみて、アジア太平洋戦争の流れを説明することができる。 ・ p 196の写真③や本文記述をみて、戦争によって戦闘員以外の民間人がどのような生活をしていたのかを説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・ 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりなどを多面的・多角的に考察し、歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・ p 187の普通選挙法の問題点、治安維持法が普通選挙法と同時に制定された理由、ソ連との国交樹立との関係についてグループワークを通じて多面的・多角的に考察することができる。 ・ p 188の「ひと 石橋湛山」をみて、石橋の小日本主義がどのように画期的であったのかを多面的・多角的に考察することができる。 ・ 「兵士たちはどのような思いで戦場に向かったのだろうか。話し合ってみよう」という課題に対し多面的・多角的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ p 189の写真④と⑤をみて、選挙権をもった人の割合、女性と政治の関係を現在の18歳選挙権との関係もあわせて考えるという学習上の課題を解決しようとしている。 ・ p 190の洲事変の記述を見て、軍隊は政府と同一ではないことを確認するとともに、現在の文民統制がなぜ重要なのかを考えるという学習上の課題を解決しようとしている。 ・ p 192のLink「南京事件」をみて、いろいろと意見の分かれる歴史的な問題に冷静に学問的にどのように対応すべきか考えるという学習上の課題を解決しようとしている。				
	【知識及び技能】 ・ 近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、近代を展望する仮説をふまえるとともに、「歴史総合」での学習の成果を活用して、近現代の地域・日本と世界の相互の関係を構造的に整理し、多様な視点から歴史に関わる諸事象について深い理解を図る。						
	【思考力、判断力、表現力等】 ・ 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する学習を通じて、思考力、判断力、表現力等の育成を図りつつ、近現代がどのような時代であったかを構造的にとらえる。 ・ 前近代の学習で習得した資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家や社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、近現代がどのような時代であったかを理解するとともに、思考力、判断力、表現力等の育成を図る。						
	【学びに向かう力、人間性等】 「あなたは、戦争が不可避となった画期について、どの出来事がそれにあたると考えるか、当時、どのような根拠にもとづいてそれが選択されたと考えるか、現代において同様の事態を回避するためには何が必要なのだろうか」などの課題を設定して、世界恐慌を契機とした保護貿易主義のひろがりや全体主義の台頭、中国などにおける民族運動の進展などの国際環境と国内の状況とを関連付けて考察したりして、当時の国際状況、国内状況についての考察をふまえ、歴史のなかでどのような判断が、何を根拠におこなわれたのかについて、根拠をもとに考察した結果を表現する。						
	【単元14】 第10章 現代日本社会の形成と展開	(67) 世界のなかの日本占領 (68) 占領政策と日本国憲法 (69) 朝鮮戦争 (70) 日米安保体制と55年体制 (71) 高度経済成長 (72) ベトナム戦争とアジア (73) 経済大国 (74) 世界の転換と日本社会 (75) グローバル化する世界と日本 (76) 「わたし」たちの社会と世界	【知識・技能】 ・ 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などをもとに、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の仕組み、国民生活の変容を理解している。				

○

○

○

8

【知識及び技能】 ・近代から現代にいたる国家や社会の展開について、主題を設定し、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する学習を通じて、思考力、判断力、表現力等の育成を図りつつ、近現代がどのような時代であったかを構造的にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これまでの学習をふまえ、この科目のまとめとして、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、生徒の生活や生活空間、地域社会との関りをふまえた主題を設定して、より良い社会の表現を視野に多面的・多角的に考察し、歴史的な経緯や根拠をふまえた展望を構想して、その結果を表現する学習をおこなう。					
【単元⑮】 学年末考査					
【知識及び技能】					
【思考力、判断力、表現力等】					
【学びに向かう力、人間性等】					
					105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 公民 科目 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： 東京書籍 政経701 『政治・経済』

教科 公民	の目標：
【知識及び技能】	社会の基本的な制度や法制度、経済活動についての知識を深め、社会問題に対する理解を高める能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	社会の課題に対して批判的かつ論理的に思考し、自分の立場を明確にして表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	社会問題に関心を持ち、積極的に学び、他者との意見交換を通じて多角的な視点を身につける姿勢を育む。
科目 政治・経済	の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元1】 民主政治の基本原理	・ 民主政治の成立	【知識・技能】 民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。	○	○	○	9
	【知識及び技能】 民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解する。	・ 法と民主政治	【思考・判断・表現】 法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。				
	【思考力、判断力、表現力等】 法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か考察する。	・ 基本的人権の確立 ・ 現代の民主政治	【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・ 世界のおもな政治体制					
	【単元2】 日本国憲法の基本原理	・ 日本国憲法の制定と基本原理	【知識・技能】 明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。	○	○	○	9
	【知識及び技能】 明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。	・ 基本的人権の保障	【思考・判断・表現】 近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。				
	【思考力、判断力、表現力等】 近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現する。	・ 平和主義	【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。						
	【単元3】	・ 立法・行政・司法	【知識・技能】				

	日本の政治機構・現代政治の特質と課題 【知識及び技能】 国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・地方自治 ・戦後政治と政党 ・選挙と政治意識 ・世論と政治参加	国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 【思考・判断・表現】 国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	【単元(7)】 現代日本の経済 【知識及び技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・現代の資本主義経済 ・現代経済のしくみ ・日本経済の発展と現状 ・福祉社会と日本経済の課題	【知識・技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	【単元(8)】 現代日本の諸課題 【知識及び技能】 現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとする。	・少子高齢社会における社会保障 ・地域社会の活性化 ・多様な働き方・生き方の実現 ・中小企業の意義と課題 ・日本の財政の健全化 ・持続可能な食料・農業の実現 ・防災と安全・安心な社会の実現	【知識・技能】 現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	9
	【単元(9)】 現代の国際政治 【知識及び技能】 国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合の役割と課題	・国際政治の特質 ・国際社会と国際法 ・国際連合の役割と課題 ・戦後国際関係の展開と日本 ・冷戦後の国際関係と日本 ・地域主義の動き	【知識・技能】 国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】				

	ロシアのシベリア国際情勢の役割、平和と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・軍縮の動向と課題	個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	【単元13】 現代の国際経済 【知識及び技能】 貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいのか多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・貿易と国際収支	【知識・技能】 貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいのか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	【単元14】 国際社会の諸課題 【知識及び技能】 国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かうことができる。	・グローバル化にともなう社会変容 ・地球環境と資源・エネルギー問題	【知識・技能】 国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 グローバル化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、イノベーションの促進と成長市場、民族問題と紛争の解決、持続可能な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かうとしている。	○	○	○	8
3 学 期							70

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学 科目： 数学B 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： 実教出版「数学B」

- 教科 数学 の目標：
- 【知識及び技能】 数学の基礎的な概念や定理を理解し、適切に活用して問題を解決する技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な問題に対して論理的に思考し、解法を適切に選び出し、過程と結果を明確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な課題に挑戦し、失敗を学びに変え、粘り強く問題解決に取り組む姿勢を育む。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Bにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元1】 1章 数列 第1節 数列とその和	1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等比数列	【知識・技能】 ・数列の意味を理解し、一般項から初項や第5項を求めたり、簡単な規則性を持つ数列からその規則性を見つけて一般項を求めたりすることができる。 ・等差数列と等比数列について理解し、一般項や和を求めることができる。 ・自然数の和を求めることができる。				
	【知識及び技能】 数列の基本的な知識を身に付け、一般項や和を求められるようにする。		【思考・判断・表現】 ・数列の規則性について考察できる。 ・与えられた2つの項から、等差数列と等比数列の一般項を求めることができる。 ・等差数列の項数を求めてから、その和を求めることができる。	○	○	○	13
	【思考力、判断力、表現力等】 事象を数列として捉え、その事象を元に考察することが出来る。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの数の並びに規則性があるか調べ、数列として一般項を用いて表そうとしている。 ・一般項を用いて数列を表すことのよさをとらえようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 数列と和に関心をもち、活用しようとする姿勢を身に付ける。						
	【単元2】 中間審査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】						
	【単元3】 1章 数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	第2節 いろいろな数列 1. 和を表す記号 2. 階差数列	【知識・技能】 ・和を表す記号 Σ の意味を理解し、 Σ を用いた数列の和の式と Σ を用いない数列の和の式を相互に変換できる。 ・ Σ を用いて表された自然数の和や自然数の2乗の和を計算することができる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めることができる。				
	【知識及び技能】 漸化式や数学的帰納法の基本的な概念を理解し、一般項を求めたり式の証明をする	第3節 漸化式と数学的帰納法 1. 漸化式 2. 数学的帰納法	【思考・判断・表現】				

	【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的帰納法を用いて考察し、規則性を見つかったりできるようになる。		・各項が積の形で表された数列の和を、 Σ の性質を利用して求めることができる。 ・階差数列ともとの数列の一般項との関係について考察することができる。	○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性等】 漸化式と数学的帰納法の有用性を認識し事象の考察に活用しようとする姿勢を身に着ける。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・ Σ の性質や、自然数の和、自然数の2乗の和を利用して、いろいろな数列の和を求めようとしている。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めようとしている。				
	【単元(4)】 期末考査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】						
2 学 期	【単元(7)】 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	第2章 統計的な推測 第1節 確率変数と確率分布 1. 確率とその基本性質 2. 確率変数と確率分布 3. 二項分布	【知識・技能】 ・確率の基本的な法則を理解し、排反事象の確率を求めたり、余事象を利用して確率を求めたりすることができる。 ・確率変数の確率分布を、表に表すことができる。 ・確率変数の平均・分散・標準偏差を求めることができる。 ・二項分布の意味を理解している。 ・二項分布にしたがう確率変数の平均・分散・標準偏差を求めることができる。				
	【知識及び技能】 確率分布の基本的な概念、性質などを体系的に理解する。		【思考・判断・表現】 ・組合せを利用して確率変数の平均を求めることができる。 ・二項分布にしたがう確率変数の確率分布を表に表すことができる。	○	○	○	13
	【思考力、判断力、表現力等】 事象の考察において、確率分布や統計的な推測を利用できるようにする		【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りのデータで、確率変数として考えられるものを見つけ、その平均・分散・標準偏差を調べ、データの特徴を把握しようとしている。 ・身の回りのデータで、二項分布を利用して考えようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 事象の考察に確率分布が有効であることに関心を持つ。						
	【単元(8)】 中間考査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】						
	【単元(9)】 第2章 統計的な推測 第2節 正規分布 第3節 統計的な推測	第2節 正規分布 1. 確率密度関数 2. 正規分布 3. 二項分布と正規分布	【知識・技能】 ・与えられた確率密度関数から、確率変数が特定の範囲となる確率を求めることができる。 ・正規分布にしたがう確率変数を標準化することができる。				
	【知識及び技能】 事象の考察において確率分布や統計的な推測を適切に用いる技能や知識を身に着ける。	第3節 統計的な推測 1. 母集団と標本 2. 標本平均の分布 3. 母平均の推定 4. 仮説検定	【思考・判断・表現】 ・身の回りのデータを、正規分布を用いて考察し、特定の範囲にある個数などを求めることができる。 ・標本平均が特定の範囲となる確率を求めることができる。	○	○	○	13
	【思考力、判断力、表現力等】 事象を考察する際に、確率分布や統計的な推測を適切に用いることが出来るようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りのデータで、正規分布を用いて考察し、特定の範囲にある確率変数を求めようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】						

	事象の考察に確率分布や統計的推測を利用しようとする姿勢を育成する。		力加にんしんがノ確平多数かめるか調べ、データの特徴を把握しようとしている。 ・全数調査や標本調査にはどのようなものがあるか調べようとしている。				
3 学 期	【単元10】 期末考査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】				
	【思考力、判断力、表現力等】			○	○	○	1
	【学びに向かう力、人間性等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
3 学 期	【単元13】 第3章 数学と社会生活 第1節 図形と測定 第2節 経済と数学 第3節 社会生活における分析	第1節 図形と測定 1. 平面の敷き詰め 2. 土地の面積と測量	【知識・技能】 ・正多角形で平面をしきつめることができる条件を理解できる。 ・単利法と複利法の仕組みを理解し、元利合計を求めることができる。 ・移動平均の意味を理解し、そのグラフを表すことができる。				
	【知識及び技能】 社会生活における問題を数学を活用して解決する意義について理解する。	第2節 経済と数学 1. 単利法と複利法	【思考・判断・表現】 ・正多角形で平面をしきつめることができる条件を考察できる。 ・面積を求めるいろいろな方法について考察できる。 ・均等分割払いにおいて、元金、利率、返済回数、返済の合計額にどのように影響するか考察することができる。 ・PPDACサイクルに基づいて問題解決する方法について考察できる。	○	○	○	13
	【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象において数や量的関係に着目し問題を数学的に表現できるようにする。	第3節 社会生活と分析 1. 移動平均 2. 回帰直線	【主体的に学習に取り組む態度】 ・2地点間の、直線距離と実際に通る道の距離との関係について調べようとしている。 ・元金、利率、返済回数を変えて、いろいろな場合についてローンの返済金額を求めようとしている。 ・身の回りのいろいろなデータについて、回帰直線の方程式を求め、予測しようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などにおける問題を数学を活用し解決しようとする姿勢を身につける。						
3 学 期	【単元14】 学年末考査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】				
	【思考力、判断力、表現力等】			○	○	○	1
	【学びに向かう力、人間性等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
							70

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 理科 科目 生物基礎

教科 理科 科目 生物基礎 単位数 3 単位

対象学年組 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書 高等学校 新生物基礎 第一学習社

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 科学的な原理や法則を理解し、実験や観察を通じてその知識を適切に活用する能力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 実験結果や科学的なデータを分析し、論理的に考察して結論を導き出し、分かりやすく表現する力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 科学的な問題に対して興味を持ち、積極的に学び続け、協力して実験や研究を進める姿勢を育む。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に着けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しを持って観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に着けている。	自然の事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を身に着けている。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元①】 第1章 生物の特徴 【知識及び技能】 生物の共通性やエネルギーについて基礎知識を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 授業や実験について適切にスケッチや考察を行い考察を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や授業の議論に積極的に参加することができる。	地球上の様々な環境には多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。 原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。また、真核細胞において細胞小器官の機能の概要を理解する。 生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 酵素の基本的な特徴について理解する。	【知識・技能】 ・各項目や実験操作について理解している。 【思考・判断・表現】 ・生物の共通性についてスケッチなどで表現し考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験、授業の議論に積極的に加わろうとしている。	○	○	○	11
	【単元②】 第2章 遺伝子とその働き 【知識及び技能】 生物は様々な形質を持つことや、遺伝子とDNA、染色体、ゲノムの違いについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの規則性や複製、転写、翻訳の仕組みなどを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や授業の議論に積極的に参加することができる。	生物は様々な形質を持ち、それを子孫に伝えている。そのことに遺伝子やDNAがかかわっている。 遺伝子とDNA、染色体についての関係や、それらがどのように生物の形質を決めているのか理解させる。 DNAの遺伝情報はタンパク質合成を通じて発現することを理解させる。 ゲノムの概念を理解させる。	【知識・技能】 DNAの構造や仕組みとともに実験観察に関する知識が適切に身に付いている。 【思考・判断・表現】 DNAに関する資料から、構造やタンパク質合成について適切に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の議論や実験に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
2 学期	【単元⑦】 第3章 ヒトのからだの調節 【知識及び技能】 体内での情報の伝達や体内環境の維持、免疫について適切な知識を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 実験や資料から恒常性やホルモンの働き、免疫系について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や授業の議論に積極的に参加することができる。	ヒトのからだの調節に情報の仕組みが関係していることを理解させる。 ホルモンと自律神経の働きとの関係について気付かせ体内環境が維持されている仕組みを理解させる。 免疫に関する資料に基づいて病原体を認識・排除する生体防御の仕組みがあることを理解させる。 免疫の仕組みの以上に関する疾患や医療への応用について理解させる。	【知識・技能】 体内環境、生体防御の仕組みについて適切な知識が身についている。 【思考・判断・表現】 実験や資料からヒトの体の調節や生体防御の仕組みについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の議論や実験に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	22
	【単元⑧】 第4章 生物の多様性と生態系	地球上に様々な植生が存在し生物と環境との関わり合いで成立していることを理解させる。	【知識・技能】 植生、バイオームについて正しく知識を身に着けている。				

	【知識及び技能】 植物の生育、バイオームと植生について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 光環境の変化や土壌の発達が遷移の進行に関係することを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や授業の議論に積極的に参加することができる。	植生は変化することをその要因と関連付けて考察させる。 バイオームや遷移の結果として成立していることに気付かせる。	レベル別課題に取り組む。 【思考・判断・表現】 実験や資料から遷移の進行やバイオームの決定条件について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の議論や実験に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	22
3 学 期	【単元⑬】 第4章 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生態系における種の多様性と生物同士の関係性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 種の多様性、生物間の関係が生態系に与える影響、生態系のバランス、人間活動が生態系に与える影響について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や授業の議論に積極的に参加することができる。	生態系に見られる生物の多様性に気付かせ多様な生物間の関係性を理解させる。 生物同士の関係が種の多様性に与える影響に気付かせ生態系の保全の重要性を理解させる。	【知識・技能】 生態系における種の多様性、バランス、保全の意義などについて正しい知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 実験や資料から種の多様性や生物同士の関係が生態系に与える影響などについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の議論や実験に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
							105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 理科 科目 科学探究

教科 理科 科目 科学探究 単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書 使用なし

- 教科 理科
- の目標：
- 【知識及び技能】科学的な原理や法則を理解し、実験や観察を通じてその知識を適切に活用する能力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】実験結果や科学的なデータを分析し、論理的に考察して結論を導き出し、分かりやすく表現する力を高める。
- 【学びに向かう力、人間性等】科学的な問題に対して興味を持ち、積極的に学び続け、協力して実験や研究を進める姿勢を育む。

科目 科学探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な科学の知識や実験操作、データの使い方などを正しく身に着ける。	収集したデータをグラフや表にして考察する。グラフや表を用いて実験内容の発表を行う。	授業中の話し合いや実験に積極的に参加する。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元1】 生き物探し	生き物(ダンゴムシ)について基礎知識を身に着けスケッチをする。	【知識・技能】 ダンゴムシについての基礎知識や実験器具、生き物の数え方についての基礎知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 集めたデータを表にして考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の話し合いや観察、実験に積極的に取り組むことができる。	○	○	○	24
	【知識及び技能】 生き物(ダンゴムシ)に関する基本知識を身につける。実験器具の基本操作を身につける。	ダンゴムシ生活空間について予想し、ダンゴムシが好きな場所について根拠をもとに仮説を立てる。					
	【思考力、判断力、表現力等】 生き物のデータについての表を書き、班ごとに発表する。	亀戸中央公園でダンゴムシを実際に探し仮説を検証する。					
	【学びに向かう力、人間性等】 授業中の話し合いや実験、観察に積極的に取り組む。	集めたデータについてさらに実験し、実験について発表する。					
2 学期	【単元7】 一番飛ぶ飛行機選手権	飛行機が飛ぶ原理について知る。ストロークライダーを作ってみる。	【知識・技能】 飛行機やストロークライダーについて基本的な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 データについて表やグラフを書き考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の話し合いや観察、実験に積極的に取り組むことができる。	○	○	○	28
	【知識及び技能】 飛行機、ストロークライダーについて飛ぶ理由が大まかに理解している。	一番飛距離の長いストロークライダーを作るために条件を考える。					
	【思考力、判断力、表現力等】 ストロークライダーのデータについての表を書き、班ごとに発表する。	1つだけ条件を変えたストロークライダーを作り、飛距離を伸ばすにはどうすれば良いか考察する。					
	【学びに向かう力、人間性等】 授業中の話し合いや実験、観察に積極的に取り組む。	集めたデータをもとにストロークライダーについて発表する。					
3 学期	【単元13】 ダイラタンシー現象	ダイラタンシー現象についての基礎知識を身につける。	【知識・技能】 ダイラタンシー現象についての基礎知識を身につける。 【思考・判断・表現】 データについて表やグラフを書き考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の話し合いや観察、実験に積極的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 ダイラタンシー現象についての基礎知識を身につける。	ダイラタンシー現象について少しづつ数値を変化させながら実験をしてデータを収集する。					
	【思考力、判断力、表現力等】 ダイラタンシー現象についてのデータの表を書き、班ごとに発表する。	集めたデータについてグラフを書き考察する。					
	【学びに向かう力、人間性等】 授業中の話し合いや実験、観察に積極的に取り組む。	実験結果を発表する。					
							70

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 理科 科目 化学基礎

教 科： 理科 科 目： 化学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： 化学基礎 数研出版

教科 理科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 科学的な原理や法則を理解し、実験や観察を通じてその知識を適切に活用する能力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 実験結果や科学的なデータを分析し、論理的に考察して結論を導き出し、分かりやすく表現する力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 科学的な問題に対して興味を持ち、積極的に学び続け、協力して実験や研究を進める姿勢を育む。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学と物質について調べ学習・実験などを通して、化学の特徴について理解するとともに、科学的に探求する為に必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付ける。	科学の特徴について問題を見出し見通しを持って調べ学習・実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探求する力を養う。	・化学の特徴に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【単元1】 序章	〇〇と化学 歴史と化学 文学と化学 アートと化学 スポーツと化学 ファッションと化学 料理と化学 住まいと化学 宇宙と化学	【知識・技能】 ・設定したテーマについて情報を収集して仮説を立て、実験を実施することができる。				
	【知識及び技能】 化学と身の回りの身近な物質について調べ学習・実験などを通して、物質を対象とする学問である化学の特徴について理解する。	化学の特徴 なぜ化学を学ぶのか？ A探求 Bどの様な視点で考えるのか Cよく似たものを見分けるのは D探求の進め方	【思考・判断・表現】 ・実験の結果を分析・考察することができる。 ・実験結果をレポートにまとめたり発表したりすることができる。	○	○	○	4
	【思考力、判断力、表現力等】 化学と身の回りのあるものに関する科学の特徴について問題を見出し見通しを持って調べ学習・実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探求する力を養う。	実験の基本操作 実験上の注意 ・化学実験・観察に当たって、安全性の確保や適切な実験器具の使用と操作による事故防止を身に付ける。 ・試薬の取り扱い、廃棄物の適切な処理、環境への影響など	【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な出来事に疑問をもち、化学の探究の進め方に興味をもつ。				
	【学びに向かう力、人間性等】 化学と身の回りのあるものに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。						
	【単元2】 第1章 物質の構成	1. 混合物と純物質	【知識・技能】 ・混合物を分離する操作として、ろ過、蒸留、分留、昇華法、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどの方法をあげることができる。				
	【知識及び技能】 物質の構成について理解するとともに、実験の技能と物質を探求する方法を身に付けている。	2. 物質とその成分	【思考・判断・表現】 純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。 ・物質を分離する操作がどのようなものであるかを説明することができる。	○	○	○	4
	【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。	3. 物質の三態と熱運動	【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されることに興味をもつ。				
	【学びに向かう力、人間性等】 物質の構成などに主体的に関り、科学的に探求しようという態度を身に付けている。						
	【単元3】 中間審査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】						
	【単元4】	1. 原子とその構造	【知識・技能】				

第2章 物質の構成粒子 【知識及び技能】 物質の構成粒子・元素の周期律について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成粒子・元素の周期律について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構成粒子・元素の周期律などに主体的に関り、科学的に探究しようという態度を身に付けている。	2. イオン 3. 元素の周期表	・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。 ・イオンの化学式が正しく書け、化学式でかかれたイオンの名称がわかる。 ・単原子イオンの電子配置を示すことができる。 ・イオン化エネルギーの概念を説明できる。 ・元素の典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布および同族元素について理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができる。 ・どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明できる。 ・原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいかを判断できる。 ・イオンのなりやすさについてイオン化エネルギーや電子親和力の値の大小と関連させて考えることができる。 ・周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき、価電子の数と化学的性質の関連について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子がいくつかの粒子から構成されていることに気づく。 ・同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。 ・原子とイオンの違いについて疑問をもつ。 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもつ。	○	○	○	6
【単元(5)】 第3章 粒子の結合 【知識及び技能】 粒子の結合（イオン結合・共有結合・金属結合）について理解するとともに、物質	1. イオン結合とイオンからなる物質 2. 分子と共有結合	【知識・技能】 ・イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式を書く方法を理解している。 ・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。 ・共有結合とはどのような結合であるか説明できる。 ・さまざまな分子を分子式や電子式、構造式で表しその構造を考えることができる。 ・配位結合が含まれる錯イオンの成りたちを理解している。 ・極性を電気陰性度の違いによる電荷のかたよりと分子の形から理解している。 ・極性分子と無極性分子の性質の差異を実験により確認することができる。 ・高分子化合物の成りたちや構造を理解している。 ・共有結合の結晶の構造やその性質の関係を理解している。 ・ダイヤモンドや黒鉛中の原子の結合を、分子模型などを使って表せる。 ・金属もイオン結晶や共有結合の結晶と同じように組成式で表されることを理解している。 ・金属の特徴を実験で示すことができる。 【思考・判断・表現】				

【思考力、判断力、表現力等】 粒子の結合（イオン結合・共有結合・金属結合）について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 粒子の結合（イオン結合・共有結合・金属結合）に主体的に関り、科学的に探求しようという態度を身に付けている。	3. 共有結合の結晶	・イオン結晶中のイオンの配置を示した模型およびイオン結晶の性質について説明することができる。 ・原子間の共有結合を考えることによって分子の構造を予想することができる。 ・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。 ・分子間力や分子結晶の性質を説明することができる。 ・付加重合や縮重合について説明できる。 ・ダイヤモンドと黒鉛の性質の違いを、共有結合の強さ、結晶構造、電子の移動をもとに説明できる。 ・分子結晶との違いについて説明できる。 ・金属特有の性質が自由電子によるものであることに気づき、金属結合および金属結晶の性質について説明できる。	○	○	○	7
	4. 金属結合と金属	【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもつ。 ・身のまわりにある分子からなる物質の成りたちについて興味をもつ。 ・通常の共有結合とはできるしくみの異なる配位結合について興味をもつ。 ・分子には極性分子と無極性分子があることに興味をもつ。 ・原子がとても長くつながった分子である高分子化合物に興味をもつ。 ・共有結合の結晶にはどのような物質があるかに興味をもつ。 ・金属特有の性質に興味をもつ。				
	【単元(6)】 期末テスト	【知識・技能】				
	【知識及び技能】	【思考・判断・表現】	○	○	○	1
【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	【知識及び技能】	【主体的に学習に取り組む態度】				
	【思考力、判断力、表現力等】					
	【学びに向かう力、人間性等】					
【単元(7)】 第1章 物質と化学反応式	1. 原子量・分子量・式量	【知識・技能】 ・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子や分子をつくらないものの質量を考えることができる。 ・実際の物質の1mol分の量を示すことができる。 ・実際の物質の量を物質量で表せる。 ・同温・同圧の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解する。 ・濃度の表し方について、いろいろな方法があることを理解している。 ・目的の濃度の水溶液を調製することができる。 ・化学反応における、物質量、粒子の数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。 ・原子説の発見、分子説の発見にいたる物質探究の歴史を学び、化学の基礎法則を理解する。				
	2. 物質量	【思考・判断・表現】				
	【知識及び技能】					
	物質と化学式について理解するとともに、物質の性質や変化を化学式を用いて説明できる。					

2 学 期	に、実験の技能と物質を操作する力等を身に付けている。		・異なる質量の原子が混在する場合、その平均の質量を表す方法を見いだすことができる。 ・ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。 ・モル質量の概念を使い、粒子の数・質量と物質量に関する計算ができる。 ・モル体積を用いて、気体の体積と物質量に関する計算ができる。 ・2種類の濃度の求め方を理解し、その換算ができる。 ・正しい化学反応式が表せる。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができる。	○	○	○	14
	【思考力、判断力、表現力等】 物質量と化学式について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。	3. 溶液の濃度					
	【学びに向かう力、人間性等】 物質量と化学式に主体的に関り、科学的に探求しようという態度を身に付けている。	4. 化学反応式と物質量	【主体的に学習に取り組む態度】 ・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をもつ。 ・原子1個がいかに小さなものであるかを実感する。 ・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。 ・物質量の概念について興味をもち、粒子の数・質量・気体の体積との関係について説明できる。 ・溶液の濃さの表し方について興味をもつ。 ・多くの化学変化は化学反応式で表されることがわかる。 ・化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。”				
	【単元8】 中間考査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】						
	【単元9】 第2章 酸と塩基の反応	1. 酸・塩基	【知識・技能】 ・酸・塩基の価数、電離度などの考え方があることを理解し、説明できる。 ・H ⁺ の授受が実際に行われている反応を確かめることができる。 ・水溶液中のH ⁺ の濃度をpHで表す方法を理解している。 ・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。 ・中和反応を化学反応式で表すことができる。 ・酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類について理解している。 ・未知の酸や塩基の濃度を、既知の塩基や酸を用いた中和滴定により決定することができる。 ・中和滴定で使用するホールビュレット、ビュレット、メスフラスコなどの器具を正しく扱うことができる。				
	【知識及び技能】 酸と塩基の反応について理解するとともに、実験の技能と物質を操作する方法を身に付けている。	2. 水の電離と水溶液のpH	【思考・判断・表現】				

	に、実験の技能と物質を探究する力を身に付けている。		・酸・塩基の性質を H^+ と OH^- で考える方法と、 H^+ の授受で考える方法から、酸と塩基を見きわめられる。 ・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・水素イオン濃度と水酸化物イオン濃度の関係 (p.118 図7) を用いて、水酸化物イオン濃度からpHを求めることができる。 ・塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。 ・中和の量的関係を数式で表すことができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。”	○	○	○	16			
	【思考力、判断力、表現力等】 酸と塩基の反応について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。	3. 中和反応と塩	【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸とは何か、塩基とは何かに関心をもつ。 ・水もまた一部が電離しているということに興味をもつ。 ・中和反応が H^+ と OH^- の反応であることに気づく。 ・身近な酸・塩基の水溶液も、中和滴定によって濃度が求められることに気づく。	○	○	○				
	【学びに向かう力、人間性等】 酸と塩基の反応に主体的に関り、科学的に探求しようという態度を身に付けている。	4. 中和滴定								
	【単元⑩】 期末考査		【知識・技能】					○	○	○
【知識及び技能】		【思考・判断・表現】								
【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】								
【学びに向かう力、人間性等】										
3 学 期	【単元⑬】 第3章 酸化還元反応	1. 酸化と還元	【知識・技能】 ・電子の授受により酸化還元反応が説明できることを理解している。 ・酸化還元反応の量的関係を計算により求めることができる。 ・酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようになる。” ・通常の酸と反応する金属と、王水や酸化力をもつ酸とのみ反応する金属との違いを理解している。 ・金属のイオン化傾向を利用して、金属を加工できる。 ・簡単な電池をつくることができる。 ・金属の製錬の方法について理解している。”	○	○	○	11			
	【知識及び技能】 酸化還元反応について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。	2. 酸化剤と還元剤	【思考・判断・表現】 ・酸化還元反応に必ず電子の移動が伴うことに気づく。 ・酸化数を求めることによって酸化還元反応を区別することができるようになる。 ・酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになる。 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを電子の授受に着目して説明できる。 ・金属のイオン化は電子を放出する酸化還元反応であることに気づく。 ・金属固有の性質をイオン化傾向で考えることができるようになる。” ・電池や金属の製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づく。 ・電池の基本的なしくみについて、イオン化傾向や電子の授受に着目して説明できる。							
	【思考力、判断力、表現力等】	3. 金属の酸化還元反応								

酸化還元反応について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化還元反応に主体的に関り、科学的に探求しようという態度を身に付けている。		反応に関与する物質の量。 【主体的に学習に取り組む態度】				
	4. 酸化還元反応の利用	・酸化と還元は同時に起こることに気づく。 ・酸化還元反応の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させることができる。 ・金属樹ができることに興味をもつ。 ・身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。				
【単元14】 化学が拓く世界 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 ・化学基礎で学習した内容と環境問題との結びつきについて理解している。				
		【思考・判断・表現】 ・私たちの暮らしを支える技術と化学の結びつきについて説明できる。	○	○	○	3
		【主体的に学習に取り組む態度】				
		・食品保存や浄水場、化粧品などの暮らしを支える技術と化学の結びつきについて興味をもつ。				
【単元15】 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】				
		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
		【主体的に学習に取り組む態度】				
						70

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 保健体育 科目 女子体育

教 科： 保健体育 科 目： 女子体育 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：

- 教科 保健体育
- の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】
- 身体の健康維持や運動の効果を理解し、実際に体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。

科目 女子体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身体の健康維持や運動の効果を理解し、実際に体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。また、運動の安全に対して、自らが取り組めるようにする。	運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。	健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。また、次の行動を考えられる指示待ちにならない気配りができる人間性を養う。

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【単元1】 A 体づくり 【知識及び技能】心と体は互いに影響していることを理解し、健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てることができるようになる 【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる 【学びに向かう力、人間性等】体づくりに運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること	・オリエンテーション ・体力テスト	【知識・技能】 心と体は互いに影響していることを理解し、健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てることができるようになる				
	【知識及び技能】 心と体は互いに影響していることを理解し、健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てることができるようになる 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになるに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること		【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになるに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること		【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること				
	【単元2】 水泳 【知識及び技能】 自己の能力にお合わせて目標を設定し、合理的な練習をして各泳法の効率的な泳ぎを身につける 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】	・オリエンテーション ・4泳法のスキルの獲得 ・記録会	【知識・技能】 理解度、技能の習熟度、活用能力、正確さ、学習効果など 【思考・判断・表現】 適切な判断や意思決定能力 自己表現と対話能力 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加と自主的な取り組み	○	○	○	

自主的に取り組み、話し合いに貢献しようとする		課題に対する責任感 自己成長を追求する姿勢				
【単元3】 球技：バスケットボール 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	・オリエンテーション ・基礎スキル各種 ・ルールの工夫 ・ゲーム	【知識・技能】 理解度、技能の習熟度、活用能力、正確さ、学習効果など 【思考・判断・表現】 適切な判断や意思決定能力 自己表現と対話能力 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加と自主的な取り組み 課題に対する責任感 自己成長を追求する姿勢	○	○	○	
【単元4】 球技：ソフトボール 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	・オリエンテーション ・基礎スキル各種 ・ルールの把握 ・ゲーム	【知識・技能】 理解度、技能の習熟度、活用能力、正確さ、学習効果など 【思考・判断・表現】 適切な判断や意思決定能力 自己表現と対話能力 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加と自主的な取り組み 課題に対する責任感 自己成長を追求する姿勢	○	○	○	
						105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 保健体育 科目 男子体育

教科： 保健体育 科目： 男子体育 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知識及び技能】 身体の健康維持や運動の効果を理解し、実際に体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。

科目 男子体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身体の健康維持や運動の効果を理解し、実際に体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。また、運動の安全に対して、自らが取り組めるようにする。	運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。	健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。また、次の行動を考えられる指示待ちにならない気配りができる人間性を養う。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元1】 A 体づくり 【知識及び技能】心と体は互いに影響していることを理解し、健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てることができるようになる 【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる 【学びに向かう力、人間性等】体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする こと、話し合いに貢献しようとする ことなどや、健康・安全を確保すること	・オリエンテーション ・体力テスト	【知識・技能】 心と体は互いに影響していることを理解し、健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てることができるようになる				
	【知識及び技能】 心と体は互いに影響していることを理解し、健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てることができるようになる		【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになるに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする こと、話し合いに貢献しようとする ことなどや、健康・安全を確保すること	○	○	○	3
	【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになるに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする こと、話し合いに貢献しようとする ことなどや、健康・安全を確保すること		【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする こと、話し合いに貢献しようとする ことなどや、健康・安全を確保すること				
	【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする こと、話し合いに貢献しようとする ことなどや、健康・安全を確保すること						
	【単元2】 球技：バレーボール	・オリエンテーション ・体育ノートの記入 ・基礎スキル各種 ・ネット張り ・スパイク ・ゲーム	【知識・技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする				
	【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする		【思考・判断・表現】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える	○	○	○	5
	【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える		【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする				
	【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切に マナーを身に付け、話し合いに貢献しようとする						

2 学 期	にやる。前レボでに具断しよノにする					
	【単元3】 球技：バドミントン	・オリエンテーション ・基礎スキル各種 ・ネット張り ・ゲーム	【知識・技能】 理解度、技能の習熟度、活用能力、正確さ、学習効果など			
	【知識及び技能】 相手に応じたラケット操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする		【思考・判断・表現】 適切な判断や意思決定能力 自己表現と対話能力	○	○	○
	【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える		【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加と自主的な取り組み 課題に対する責任感 自己成長を追求する姿勢			5
	【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする					
	【単元4】 球技：サッカー	・オリエンテーション ・体育ノートの記入 ・基礎スキル各種 ・ルールの工夫 ・ゲーム	【知識・技能】 理解度、技能の習熟度、活用能力、正確さ、学習効果など			
	【知識及び技能】 役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする		【思考・判断・表現】 適切な判断や意思決定能力 自己表現と対話能力	○	○	○
	【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える		【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加と自主的な取り組み 課題に対する責任感 自己成長を追求する姿勢			5
	【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする					
	【単元7】 水泳	一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ることができるようにする。	【知識・技能】 水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。			
	【知識及び技能】 水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。		【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。	○	○	○
	【思考力、判断力、表現力等】 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。		【主体的に学習に取り組む態度】 水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。			8
	【学びに向かう力、人間性等】 水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。					
	【単元8】 バスケットボール	・オリエンテーション ・体育ノートの記入 ・基礎スキル各種 ・ルールの工夫 ・ゲーム	【知識・技能】 正しいフォームで各種個人的技能が行われているか。またそれらを生かした集団的スキルが行われているか。ルールを理解しているか。			
	【知識及び技能】 ルール、個人技能・集団技能を学び、向上させる。		【思考・判断・表現】 技能を高めるために考えて練習している。またそれが授業ノート、プリント等に適切に表現されている。	○	○	○
	【思考力、判断力、表現力等】 技能を高めるための方策を考え実践する。		【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に練習やゲームに参加し、また雰囲気盛り上げようとしている。			6
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に練習に参加し、技能を高めようとする。					
	【単元9】 ソフトボール	・オリエンテーション ・体育ノートの記入 ・基礎スキル各種 ・ルールの工夫 ・ゲーム	【知識・技能】 個人的技能が行われているか。またそれらを生かした集団的スキルが行われているか。ルールを理解しているか。			

3 学 期	【知識及び技能】 ルール、個人技能・集団技能を学び、向上させる。 【思考力、判断力、表現力等】 技能を高めるための方策を考え実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に練習に参加し、技能を高めようとする。		【思考・判断・表現】 技能を高めるために考えて練習している。またそれが授業ノート、プリント等に適切に表現されている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に練習やゲームに参加し、また雰囲気盛り上げようとしている。	○	○	○	6
	【単元⑬】 球技 【知識及び技能】 ・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯に渡って運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	・オリエンテーション ・基礎スキル各種 ・ゲーム	【知識・技能】 理解度、技能の習熟度、活用能力、正確さ、学習効果など 【思考・判断・表現】 適切な判断や意思決定能力 自己表現と対話能力 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加と自主的な取り組み 課題に対する責任感 自己成長を追求する姿勢	○	○	○	6
							105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 保健体育 科目 スポーツ演習

教 科： 保健体育 科 目： スポーツ演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：

- 教科 保健体育
- の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】
- 身体 の健康維持や運動の効果を理解し、実際に体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。

科目 スポーツ演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身体 の健康維持や運動の効果を理解し、実際に体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。また、運動の安全に対して、自らが取り組めるようにする。	運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。	健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。また、次の行動を考えられる指示待ちにならない気配りができる人間性を養う。

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【単元(1)】 バドミントン バレーボール バスケットボール ソフトボール サッカー 卓球 バドミントン 選択種目	選択科目の履修方法と実施種等について実施種目についての、計画・立案・実施についての助言、指導	【知識・技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする				
	【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする		【思考・判断・表現】 指導計画をもとに自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える	○	○	○	24
	【思考力、判断力、表現力等】 自らが指導計画を作成することで、自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える		【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする				
	【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする						
2 学 期	【単元(1)】 バドミントン バレーボール バスケットボール ソフトボール サッカー 卓球 バドミントン 選択種目	選択科目の履修方法と実施種等について実施種目についての、計画・立案・実施についての助言、指導	【知識・技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする				
	【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする		【思考・判断・表現】 指導計画をもとに自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える	○	○	○	28
	【思考力、判断力、表現力等】 自らが指導計画を作成することで、自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える		【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする				
	【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする						
	【単元(1)】 バドミントン バレーボール バスケットボール ソフトボール サッカー 卓球 バドミントン 選択種目	選択科目の履修方法と実施種等について実施種目についての、計画・立案・実施についての助言、指導	【知識・技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする				

3 学 期	バスケットボール ソフトボール サッカー 卓球 バドミントン		定した用具の探知と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする				
	【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする		【思考・判断・表現】 指導計画をもとに自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える	○	○	○	18
	【思考力、判断力、表現力等】 自らが指導計画を作成することで、自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える		【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする				
	【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする						
							70

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 外国語 科目 論理・表現I

教科： 外国語 科目： 論理・表現I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： Earthrise English logic and Expression I Standard

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】 外国語の基本的な文法、語彙、発音を理解し、聞く、話す、読む、書くの技能を高める能力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 外国語で自分の考えや意見を論理的に表現し、異文化や異なる視点を理解しながらコミュニケーションを行う力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語を学び続ける姿勢を持ち、異文化に対する理解や敬意を深め、国際的な視野を広げる態度を育む。

科目 論理・表現I	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
英語による論理的な発信に必要な語彙・文法・発音・語順などの基礎的な知識を理解し、それらを活用して英文を構成する技能を身に付けている。	伝えたい内容や場面に応じて、学んだ表現や構文を適切に選択・構成し、自分の考えや意図を論理的に英語で表現する力を身に付けている。
	【学びに向かう力、人間性等】
	自らの課題や目標を意識しながら、表現活動に粘り強く取り組み、振り返りやフィードバックを通して学習方法や内容を主体的に改善しようとしている。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
1 学期	【単元1】 ■Lesson 1 Introduce yourself to your class	前置詞や副詞などの品詞を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 ・〈S+V+C〉 〈S+V+O〉 〈S+V+O+O〉 と 〈S+V+O+C〉 の意味・用法の違いを理解できる。				
	【知識及び技能】 ・〈S+V+C〉 〈S+V+O〉 〈S+V+O+O〉 と 〈S+V+O+C〉 の意味・用法の違いを理解している。	第1文型から第3文型を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【思考・判断・表現】 相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりできる。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりしている。	第4文型から第5文型を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【主体的に学習に取り組む態度】 相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりできる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりしようとしている。						
	【単元2】 ■Lesson 2 How do you spend your weekend?	動詞の現在形・過去形・現在進行形を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 動詞の現在形・過去形・現在進行形の意味・用法を理解できる。				
	【知識及び技能】 動詞の現在形・過去形・現在進行形の意味・用法を理解している。	未来を表すwill, be going to, 現在進行形を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【思考・判断・表現】 週末にしたことについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 週末にしたことについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	「子供たちはインターネットの使用に時間を使わずにいる」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【主体的に学習に取り組む態度】 自分が週末にしたことについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。				
	【学びに向かう力、人間性等】 自分が週末にしたことについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。						
	【単元3】 ■Lesson 3 Where did you go on vacation?	現在完了形を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 現在完了形の意味・用法を理解できる。				
	【知識及び技能】 現在完了形の意味・用法を理解している。	現在完了進行形・過去完了形を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【思考・判断・表現】 自分が行ったことがある場所について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 「旅行をするときにはどの交通手段を使うのがいいか」という論題について、新						

自分が行ったことがある場所について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が行ったことがある場所についての情報などを整理し、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	「ソコがアツカ」 という問題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【主体的に学習に取り組む態度】 自分が行ったことがある場所についての情報などを整理し、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。				
【単元(4)】 ■Lesson 4 How can I get there? 【知識及び技能】 can, mayの意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをしようとしている。	can, mayを教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 must, have toを教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 「公共の場所にはより多くの監視カメラが設置されるべきだ」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 can, mayの意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをしようとする。	○	○	○	6
【単元(5)】 ■Lesson 5 Would you like to come with me? 【知識及び技能】 would, could, may[might]の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。	would, could, may[might]を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 should have doneと must have doneを教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 「高校生はクラブに入るべきだ」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 would, could, may[might]の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとする。	○	○	○	6
【単元(6)】 ■Lesson 6 Something really Japanese 【知識及び技能】 〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）と能動態の違いを教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 「日本のどんな点が観光客をひきつけるのか」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。	○	○	○	6
【単元(7)】 ■Lesson 7 Do you do any volunteer activities? 【知識及び技能】 to do（不定詞の名詞的用法・形容詞的用法）の意味・用法を理解している。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 to do（不定詞の名詞的用法・形容詞的用法）の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 to do（不定詞の名詞的用法・形容詞的用法）の意味・用法を説明できる。				

と 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 to do（不定詞の名詞的用法・形容詞的用法）の意味・用法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	「すべての高校において、ボランティア・デーを設けるべきだ」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	7
	【単元(8)】 ■Lesson 8 Let's enjoy school life! 【知識及び技能】 〈want+0+to do〉や〈see+0+do〉などの意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 〈want+0+to do〉や〈see+0+do〉などの意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしようことができる。	○	○	○	7
	【単元(9)】 ■Lesson 9 Are you eco-friendly? 【知識及び技能】 doing（動名詞）の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 doing（動名詞）の意味・用法を理解している。 【思考・判断・表現】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	7
	【単元(10)】 ■Lesson 10 What sports do you like? 【知識及び技能】 doing/done（分詞）の限定用法の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 doing/done（分詞）の限定用法の意味・用法を理解している。 【思考・判断・表現】 サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。	○	○	○	7
	【単元(10)】 ■Lesson 11 That's new to me! 【知識及び技能】 〈see+0+doing〉や〈have+0+done〉などの意味・用法を理解している。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 〈see+0+doing〉や〈have+0+done〉などの意味・用法を理解している。 【思考・判断・表現】 さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。				

3 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	に伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	7
	【単元11】 ■Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most? 【知識及び技能】 who, which, that (関係代名詞) の意味・用法の違いを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 can, mayの意味・用法を理解している。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 who, which, that (関係代名詞) の意味・用法の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	○	○	○	7
	【単元13】 ■Lesson 13 I'm interested in history 【知識及び技能】 when, how (関係副詞) の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 when, how (関係副詞) の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。	○	○	○	9
	【単元14】 ■Lesson 14 Various countries around the world 【知識及び技能】 as ~ as, -er[more ~] than…の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 as ~ as, -er[more ~] than…の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。	○	○	○	9
	【単元15】 ■Lesson 15 What job are you interested in? 【知識及び技能】 仮定法過去 (If S' + 過去形 [were] ~, S would [could] …) の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が興味のある職業についてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 仮定法過去 (If S' + 過去形 [were] ~, S would [could] …) の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 自分が興味のある職業についてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。	○	○	○	9

	【学びに向かう力、人間性等】 自分が興味のある職業についてクラス メートに伝えたり，相手からの質問に答 えたりしようとしている。		【主体的に学習に取り組む態度】 自分が興味のある職業につい てクラスメートに伝えたり， 相手からの質問に答えたりし ようとする。				
							105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 外国語 科目 総合英語

教科： 外国語 科目： 総合英語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： 入門英文問題精講(4訂版)、中学英語長文2

- 教科 外国語
- の目標：
- 【知識及び技能】 外国語の基本的な文法、語彙、発音を理解し、聞く、話す、読む、書くの技能を高める能力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 外国語で自分の考えや意見を論理的に表現し、異文化や異なる視点を理解しながらコミュニケーションを行う力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語を学び続ける姿勢を持ち、異文化に対する理解や敬意を深め、国際的な視野を広げる態度を育む。

科目 総合英語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
読解に必要な語彙や文法の基礎知識を習得し、実際の英文でそれを運用できる。	筆者の主張や意図を読み取る力を身につける。	英文を読むことへの関心や目的意識を持ち、自主的に学習に取り組む。
文構造や指示語・接続語などの機能を理解し、情報のつながりを把握できる。	複数の英文情報を比較・整理し、自分の考えを根拠とともに表現できる。	他者の意見や解釈を尊重しながら、協働的に理解を深める姿勢を育む。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元15】 区と節	オリエンテーション 長文読解の学習法について 高校英語の振り返り	【知識・技能】 区と節の構造や用法を正確に理解し、識別できている。				
	【知識及び技能】 文中の区と節の構造を理解し、適切に識別できる。	高校卒業後、自主的に英語学習をする際に活用できる勉強法やツールを学ばせる。 (英語辞書、翻訳ツール、AIの活用法)	【思考・判断・表現】 文脈に応じて区と節を適切に使い、意味のある英文を作成している。	○	○	○	2
	【思考力、判断力、表現力等】 文脈に応じて区と節を使い分け、意味の異なる英文を構成できる。	名詞節・形容詞節・副詞節の働きと区との違いを理解させる。	【主体的に学習に取り組む態度】 文構造に関心を持ち、課題に意欲的に取り組んで学習を深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 文の構造に対する興味関心を持ち、表現の違いを積極的に探求できる。	句(不定詞句・動名詞句など)の構造と用法を文章の中で扱う。					
	【単元16】 主語の把握(前置詞＋名詞)	前置詞句が主語でないことを理解し、真の主語を見抜く力を養う。	【知識・技能】 前置詞句と主語の違いを理解し、正確に主語を特定している。				
	【知識及び技能】 前置詞句の構造と機能を理解し、主語と修飾語を正しく識別できる。	前置詞＋名詞が修飾語である例を通して識別力を高める。	【思考・判断・表現】 文構造を分析し、前置詞句に惑わされずに文の骨格を明確にしている。	○	○	○	4
	【思考力、判断力、表現力等】 複雑な語順の文において、文の骨格を分析し、正確に読み取る力を養う。	文構造を図式化し、主語・述語の関係を明確にする練習を行う。	【主体的に学習に取り組む態度】 文構造の理解に継続して取り組み、論理的に読解しようとする姿勢を示している。				
	【学びに向かう力、人間性等】 文構造の理解に粘り強く取り組み、論理的な読解力を高めようとする態度を育成する。						
	【単元3】 動詞の把握(受動態＋不定詞)	受動態と不定詞の構造を理解し、主語と動詞の関係を正確に把握する。	【知識・技能】 受動態と不定詞の構造や用法を理解し、適切に識別している。				
	【知識及び技能】 受動態と不定詞の文構造を理解し、文中の正しい動詞を判断できる。	不定詞の主語との関係に注目し、意味の違いを理解させる。	【思考・判断・表現】 受動態＋不定詞の構文の意味を判断し、適切に訳したり使ったりしている。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 受動態＋不定詞の構文の意味や意図を理解し、適切に訳出・表現する力を育てる。	受動態＋不定詞の文型を整理し、語順と意味を確認する。	【主体的に学習に取り組む態度】 表現の違いに関心を持ち、自ら進んで応用表現を学ぼうとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 多様な表現に対する興味を持ち、主体的に表現の幅を広げようとする姿勢を育む。						
	【単元4】 動詞の把握(分詞との区別)	動詞と形容詞的分詞を区別し、述語動詞を正確に見極める力を養う。	【知識・技能】 分詞と述語動詞の違いを理解し、文中で正しく識別している。				

2 学 期	【知識及び技能】 分詞と動詞の形・機能の違いを理解し、述語動詞を正確に見抜く力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞か述語かを文脈から判断し、文構造的に読み取る力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 曖昧な構造に対して積極的に考え、正しく理解しようとする学習姿勢を育成する。	現在分詞・過去分詞の働きを整理し、役割の違いを明確にする。 分詞と述語動詞の位置や形の違いを意識して判断させる。	【思考・判断・表現】 文脈や語順から述語か分詞かを判断し、正しい文構造を導き出している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文法的に曖昧な文にも積極的に向き合い、粘り強く解決しようとしている。	○	○	○	6
	【単元5】 主語の把握（文頭の長い副詞句） 【知識及び技能】 副詞句が主語でないことを理解し、語順や構文の基本に基づいて文を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な語順でも主語・述語の関係を見抜き、論理的に文を解析・理解する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 難解な構文にも前向きに取り組み、正確に読み解こうとする意欲を高める。	文頭の副詞句に惑わされず、主語と動詞の一致を正しく捉える。 修飾語と文の骨格（主語・述語）を区別する力を養う。	【知識・技能】 副詞句と主語の違いを理解し、複雑な語順でも主語を正確に把握している。 【思考・判断・表現】 文頭の長い副詞句に惑わされず、文の構造を論理的に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 難解な構文に対しても前向きに取り組み、主体的に理解しようとしている。	○	○	○	6
	【単元7】 ～ingの働き（動名詞） 【知識及び技能】 動名詞の用法を理解し、文中で正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を用いた文を自ら構成し、場面に応じて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 新しい文法事項に意欲的に取り組み、積極的に学習に参加することができる。	動名詞の基本的な形と主語・目的語での使い方を理解させる。 likeやenjoyなどの動詞の目的語としての動名詞の役割を練習させる。 日常生活や趣味に関する文を動名詞を使って書かせる活動を行う。	【知識・技能】 動名詞の形と用法を理解し、正確に使っている。 【思考・判断・表現】 動名詞を適切に用いて、自分の考えを英語で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に活動に参加し、進んで英語を使おうとしている。	○	○	○	6
	【単元8】 ～ingの働き（動詞か現在分詞） 【知識及び技能】 動詞と現在分詞の違いを理解し、文中で識別して使い分けすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在分詞を使って場面を描写したり、説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 観察力を働かせ、細かな違いに注意して学習する姿勢をもつことができる。	be動詞＋現在分詞による進行形との違いを例文で比較させる。 現在分詞が名詞を修飾する用法を絵や映像を用いて理解させる。 現在分詞を使って、行動や状況を描写する文を作らせる練習を行う。	【知識・技能】 動詞と現在分詞の機能の違いを理解し、使い分けている。 【思考・判断・表現】 現在分詞を使って具体的な情景や動作を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文法的な違いに関心をもち、積極的に理解しようとしている。	○	○	○	5
	【単元9】 ingの働（分詞構文） 【知識及び技能】 分詞構文の形と意味を理解し、英文の中で使えるようにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞構文を使って理由・時・条件などを表す複文を構成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の幅を広げることの大切さを認識し、学習に前向きに取り組むことができる。	分詞構文と接続詞を使った文の変換練習で意味の違いを理解させる。 典型的な分詞構文（～しながら、～したのでなど）のパターンを習得させる。 写真や動画を見て状況を説明する文を分詞構文で作成させる活動を行う。	【知識・技能】 分詞構文の形や意味を理解し、適切に使っている。 【思考・判断・表現】 分詞構文を使って複雑な内容を簡潔に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 難易度の高い文法事項にも積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	【単元10】 関係代名詞と関係副詞	who, which, that, when, whereなどの関係代名詞と関係副詞の基本的な用法を理解させる。	【知識・技能】 関係代名詞と関係副詞の用法を正確に理解し、使っている。				

3 学 期	【知識及び技能】 関係代名詞と関係副詞の使い方と違いを理解し、正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 関係詞を使って情報を補足する複文を自分で構成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の意見や説明を深く理解しようとする姿勢を育てることができる。	関係副詞（when, where, why）の使い方を具体的な例とともに指導する。 関係詞を用いて人物や場所について詳しく説明する作文を行う。	【思考・判断・表現】 関係詞を使った複文を論理的に構成し、情報を整理して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手にわかりやすく伝えることを意識しながら文を工夫している。	○	○	○	6
	【単元11】 等位接続詞と従属接続詞 【知識及び技能】 等位接続詞と従属接続詞の違いを理解し、文の構造に応じて使い分けができる。 【思考力、判断力、表現力等】 接続詞を使って因果・対比・選択などの論理的関係を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意見や主張を明確に伝えるために論理的構成を意識することができる。	and, but, or などの等位接続詞の役割と使い方を確認させる。 because, although, if などの従属接続詞による文の構造を理解させる。 意見文や説明文に接続詞を使って論理の流れを明確にする練習を行う。	【知識・技能】 等位接続詞と従属接続詞の用法を理解し、適切に使っている。 【思考・判断・表現】 接続詞を用いて論理的な文や意見を構成している。 【主体的に学習に取り組む態度】 考えを明確に伝えるために表現を工夫しようとしている。	○	○	○	6
	【単元13】 完了形の用法（完了・経験・継続・結果） 【知識及び技能】 現在完了形の用法（完了・経験・継続・結果）を理解し、正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日常や過去の出来事を、現在完了形を用いて英語で適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語でのやりとりの中で、自分や相手の経験を積極的に共有することができる。	現在完了形の4つの基本用法（完了・経験・継続・結果）を例文とともに理解する。 現在完了形と過去形の違いを、具体的な場面や文脈を通して比較して学ぶ。 経験や出来事を問う質問文や応答文を作成・練習し、実際に会話に活用する。	【知識・技能】 現在完了形の構文と意味の違いを理解し、正しく使い分けられている。 【思考・判断・表現】 具体的な場面に応じて現在完了形を適切に用いた英文を作成・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に主体的に取り組む、他者とのやりとりを通して自らの経験を伝えている。	○	○	○	6
	【単元13】 比較対象の把握 【知識及び技能】 比較級や最上級の文法的特徴を理解し、正しく使い分けすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 比較を用いて自他を客観的に説明したり、意見を述べるることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの物事を比較しながら、他者と違いを尊重した表現ができる。	比較級・最上級の文法規則を学び、文中での使い方を練習する。 as ～ as 構文や less ～ than など、さまざまな比較表現を理解する。 実生活に基づくトピックで、比較表現を使った自己表現を行う。	【知識・技能】 比較表現の形や意味を理解し、正確に使えている。 【思考・判断・表現】 比較を活用して自他を論理的に説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観を比較により認識し、尊重できている。	○	○	○	6
	【単元14】 仮定法 【知識及び技能】 仮定法過去・仮定法過去完了の文構造を理解し、正しく表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 現実とは異なる状況を仮定して、自分の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分や他者の行動や選択を振り返り、想像力を働かせた表現ができる。	仮定法過去・過去完了の基本構文と時制の一致を学習する。 仮定法を使って、もし～だったらという場面を考える練習をする。 想像上の状況についてスピーチや短文作成を通じて表現する。	【知識・技能】 仮定法の構造や時制の使い方を理解し、文を正しく構成している。 【思考・判断・表現】 仮定的状況を的確に設定し、自分の考えを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の立場に立って考え、仮定表現を通じて共感を示している。	○	○	○	6
							70

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： 2東書 家総701「家庭総合 自立・共生・創造」

教科 家庭	の目標：
【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元(1)】 衣生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めさせる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解させるとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができるようにする。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解させ、衣生活の自立に必要な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実向上を図るために実践する態度を育てる。	衣生活をつくる 1 被服の役割を考える ・被服の機能 2 被服を入手する ・被服の表示 ・被服の材料 3 被服を管理する ・被服の手入れ ・洗剤と漂白剤の働き 4 被服を作る ・被服の構成 ・採寸とサイズ ・被服製作 5 衣生活の文化と知恵 ・生活文化と被服 ・世界の民族衣装 6 これからの衣生活 ・被服の生産と消費 ・環境に配慮した衣生活	【知識・技能】 ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解しているとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	23
	【単元(2)】 期末考査 【知識及び技能】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○	○	1

	【思考力、判断力、表現力等】						
	【学びに向かう力、人間性等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
2 学 期	【単元(7)】 食生活の科学と文化	食生活をつくる 1 食生活の課題について考える ・青年期の食生活の課題 ・「食べる」とは ・食生活の課題 ・食生活の変化 2 食事と栄養・食品 ・栄養と栄養素 ・栄養素と食品 3 食品の選択と安全 ・食品の選択 ・食品の保存と加工 ・食品の衛生と安全 4 生涯の健康を見通した食事計画 ・栄養バランスのよい食事 ・食事計画 5 調理の基礎 ・調理法や味付けのバランス ・食事の場面を考えた調理 ・調理実習 6 食生活の文化と知恵 ・日本の食文化 ・世界の食文化 7 これからの食生活 ・食料生産と食料問題 ・食の安全性の確保 ・食をめぐる問題とその対策 ・持続可能な食生活を営む力	【知識・技能】 ・食生活を取り巻く課題、食の安全性と衛生、日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解している。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 主体的に食生活を営むことができるような健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実に向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	27
	【知識及び技能】 ・食生活を取り巻く課題、食の安全性と衛生、日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解させる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解させるとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解させ、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に食生活を営むことができるような健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実に向上を図るために実践しようとする態度を育成する。						
	【単元(8)】 期末考査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】					
【学びに向かう力、人間性等】							
3 学 期	【単元(13)】 高齢者の関わりと福祉	超高齢社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 ・超高齢社会の現状 ・ライフステージとしての高齢期 2 高齢期の心身の特徴 ・老化と成熟 ・高齢期の健康と自立 ・高齢期の生きがいと生活課題 3 高齢者の自立を支える ・介助実習 4 これからの超高齢社会 ・介護をめぐる問題 ・高齢者とともに地域をつくる	【知識・技能】 ・高齢者の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けている。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢福祉について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じて適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど	○	○	○	17
	【知識及び技能】 ・高齢者の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付ける。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢福祉について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】						

高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活向上を図るために実践しようとする態度を育成する。		して課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活向上を図るために実践しようとしている。				
【単元14】 卒業審査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
						70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科		家庭	科目	保育基礎
教科： 家庭	科目： 保育基礎	単位数：	2	単位
対象学年組：第3学年A～E 組（選択）				
使用教科書：（ 7実教 保育基礎701 実教出版 ）				
教科 家庭				
の目標：				
【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。				
【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。				
【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。				
科目 保育基礎				
の目標：				

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	子供の発達や保育にかかわる現状について理解を深め、課題の発見、解決に向けて考える力、適切に判断し工夫し創造する力を身に付ける。保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	保育の充実を目指して自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 保育の意義と方法、保育の環境の特徴と役割について理解を深めさせる 【思考力、判断力、表現力等】 子供の心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫できる力を育成する 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの保育の方法や保育の環境について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践する態度を育てる	ガイダンス 子どもの保育 保育の意義 保育の方法 保育の環境	【知識及び技能】 保育の意義と方法、保育の環境の特徴と役割について理解を深めている 【思考力、判断力、表現力等】 子供の心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの保育の方法や保育の環境について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとしている	○	○	○	18
	【知識及び技能】 生涯発達における乳幼児期について、基本的な発達の特性と心身の様々な機能の発達を発達時期ごとの子どもの姿を通して理解を深めさせる 【思考力、判断力、表現力等】 乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について課題を発見し、解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けさせる 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達について自ら学び保育に主体的かつ協働的に実践する態度を育てる	子供の発達 子供の発達の特性 乳児期の発達 幼児期の発達	【知識及び技能】 生涯発達における乳幼児期について、基本的な発達の特性と心身の様々な機能の発達を発達時期ごとの子どもの姿を通して理解を深めている 【思考力、判断力、表現力等】 乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について課題を発見し、解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達について自ら学び保育に主体的かつ協働的に実践しようとしている	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
時 間 外	・実際に子どもと触れあう機会や保育の様子を観察などを通じて、子どものものの見方や感じ方、子どもとの適切な関わり方など、保育への理解を深める。子どもとかわってみる（保育体験）※長期休業中など授業時間外	子どもとかわかる（保育実習） ※長期休業中など授業時間外	・保育実習において安全に配慮し、子どもと適切にかかわったり観察することができる。 保育実習の記録のまとめ、成果発表	○	○	○	
	【知識及び技能】 子供の文化、遊びと表現活動について理解を深め、関連する技術を身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな、発達を促す遊びや表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 子供の文化について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとする態度を育成する。	子供の文化 子供の文化の意義 子供の遊びと表現活動 子供の文化を支える場	【知識及び技能】 子供の文化、遊びと表現活動について理解を深め、関連する技術を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな、発達を促す遊びや表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 子供の文化について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとしている。	○	○	○	25
	【知識及び技能】 子供の生活と養護について体系的に理解し、子供の健康的な生活を支える保育の技術を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 子供の生活と適切な用語について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を育てる 【学びに向かう力、人間性等】 子供の生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとする態度を育成する。	子どもの生活と養護 乳幼児期の生活の特徴と養護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止	【知識及び技能】 子供の生活と養護について理解を深し、適切な生活習慣の形成や健康と安全管理に関する保育の技術を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の生活と適切な用語について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 子供の生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとしている	○	○	○	2

			る。				
	定期考査						1
3 学 期	【知識及び技能】 子供の生活と養護について体系的に理解し、子供の健康的な生活を支える保育の技術を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 子供の生活と適切な用語について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を育成する 【学びに向かう力、人間性等】 子供の生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとする態度を育成する。	子どもの生活と養護 乳幼児期の生活の特徴と養護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止	【知識及び技能】 子供の生活と養護について理解を深し、適切な生活習慣の形成や健康と安全管理に関する保育の技術を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の生活と適切な用語について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 子供の生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとしている。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 児童観の変遷や児童福祉の理念と制度について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の福祉を支える場の役割について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を育てる 【学びに向かう力、人間性等】 子供の福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	子供の福祉 児童館の変遷 児童福祉の理念と関係法規・制度 子供の福祉を支える弁場	【知識及び技能】 児童観の変遷や児童福祉の理念と制度について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の福祉を支える場の役割について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる 【学びに向かう力、人間性等】 子供の福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 商業 科目 マーケティング

教 科： 商業 科 目： マーケティング 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： 7実教 商業718 マーケティング

教科 商業	の目標：
【知 識 及 び 技 能】	商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】	商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 マーケティング の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
マーケティングに関する基本的な概念や実務的な知識を体系的に理解し、関連する技術（市場分析、製品企画、プロモーション戦略など）を習得する。	マーケティングに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて問題を解決する能力を養う。創造的なアイデアや戦略を生み出し、それを論理的に表現する力を育む。	ビジネス環境においてマーケティングを効果的に活用する力を高め、マーケティングの課題に対して主体的かつ協動的に取り組む態度を育てる。

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【単元1】 1章 マーケティングの概要	1)マーケティングの歴史と発展 ①マーケティングとは ②マーケティングの歴史的発展	【知識・技能】 マーケティングの基本概念、歴史、市場分析手法（SWOT分析など）を理解し、マーケティング戦略に必要な知識を習得する。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 マーケティングの基本的な概念と歴史、現代市場における適応方法を理解し、SWOT分析や市場環境分析などの技術を身につける。	2)現代の市場とマーケティング ①優れたマーケティングの条件 ②現代市場に創造的に適応する	【思考・判断・表現】 マーケティング課題を論理的に分析し、創造的に解決策を提案できる力を養う。				
	【思考力、判断力、表現力等】 マーケティング戦略を論理的に分析し、創造的なアイデアを提案し、他者にわかりやすく表現できる能力を養う。	3)マーケティングの環境の分析 ①SWOT分析 ②内部環境分析 ③外部環境分析	【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】 マーケティングの課題に対して積極的に学び、グループ活動やディスカッションを通じて協力しながら学習に取り組む姿勢を育む。	4)マーケティング・マネジメント ①重要性 ②プロセス	マーケティングの知識を積極的に学び、グループ活動を通じて協力的に取り組む姿勢を育む。				
	【単元2】 2章 消費者行動の理解	1)消費者の心理と行動の関係 ①問題解決のための購買 ②消費者の心理と購買意思決定	【知識・技能】 消費者行動に関する基本的な概念、購買意思決定の過程、消費者心理の理論を正確に理解し、適切に説明・応用できるかを評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】 消費者行動の基本的な概念、購買意思決定の過程、消費者の心理と行動の関係を理解し、消費者行動に影響を与える要因を身につける。	2)購買意思決定過程 ①問題認識 ②情報探索 ③代替品評価 ④商品選択 ⑤購買後行動	【思考・判断・表現】 消費者行動に影響を与える要因を分析し、実際の事例に基づいてその影響を論理的に判断し、明確に表現できるかを評価する。				
	【思考力、判断力、表現力等】 消費者の意思決定過程を分析し、購買行動における心理的な要因を論理的に考察し、具体的な事例を通じて表現する能力を養う。	3)消費者行動に影響を与える要因 ①動機付け ②態度 ③関与 ④消費者間の影響	【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】 消費者行動を理解し、実生活における消費者の心理や行動に積極的に関心を持ち、学びを深める姿勢を育む。		消費者行動について積極的に学び、授業やグループ活動に参加し、自己の理解を深めるために努力し、他者と協力して学習を進める姿勢を評価する。				
	【単元3】 中間考査(授業内テスト)		【知識・技能】	○	○	○	1
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】				
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】						

2 学 期	【単元(4)】 3章 市場調査 【知識及び技能】 市場調査の基本的な概念や手順、調査の種類（定性調査・定量調査）について理解し、仮説検証の方法や調査対象の選定方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場調査の手順に基づいて、仮説を立て、収集したデータを分析し、調査結果を論理的かつ適切に表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 市場調査に関する学びを積極的に深め、調査活動を通じて他者と協力し、自己の学びを広げる姿勢を育む。	1)市場調査の概要 ①市場調査とは ②市場調査の種類 2)市場調査の手順 3)仮説検証の手順 ①予備調査 ②本調査 ③調査対象の選定 4)実態調査の方法 ①定性調査とは ②定性調査の種類 ③定量調査とは ④定量調査の種類	【知識・技能】 市場調査の基本的な概念や手順、調査方法（定性調査・定量調査）の理解度と、それらを実務に適用する技能を評価する。 【思考・判断・表現】 仮説検証の手順を踏まえた調査計画や実施、データ分析の過程において、論理的に判断し、調査結果をわかりやすく表現する能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場調査に積極的に取り組み、グループワークやディスカッションを通じて主体的に学びを深め、協働して問題解決に向かう態度を評価する。	○	○	○	17
	【単元(5)】 4章 STP 【知識及び技能】 セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング（STP）の基本概念を理解し、それぞれの手法や変数、条件を習得する。ポジショニングの作成方法と創造的な方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 市場のセグメントを適切に選定し、ターゲット市場を分析・判断して、適切なポジショニング戦略を立案・表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 STP戦略の実務への適用に積極的に取り組み、グループでの協働学習やディスカッションを通じて他者と意見交換しながら学びを深める姿勢を育む。	1)セグメンテーション ①概要 ②するための変数 ③有効になる条件 2)ターゲティング ①概要 ②意義と注意点 3)ポジショニング ①概要 ②作成 ③創造的なポジショニング	【知識・技能】 STPの基本的な概念（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング）の理解度と、実際のマーケティング活動における技術の応用能力を評価する。 【思考・判断・表現】 セグメンテーションやターゲティングを基に、市場分析やポジショニング戦略を論理的に分析し、適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 STP戦略に関する学びに積極的に取り組み、ディスカッションやグループワークを通じて協力的に学び、主体的に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	8
	【単元(6)】 期末考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	【単元(7)】 5章 製品政策 【知識及び技能】 製品政策の基本的な概念や目的、製品分類の方法を理解し、新製品開発のプロセスや製品ミックスについて学ぶ。販売計画や生産計画の立案方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場や消費者のニーズに基づいて、製品政策や新製品開発戦略を分析し、売上予測や生産計画の作成方法を論理的に判断・表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 製品政策に関する学びを積極的に深め、他者との協力を通じて新製品開発や販売計画の立案に主体的に取り組む姿勢を育む。	1)製品政策の概要 ①製品政策の目的 ②便益の束 ③マーケティングマイオピアを避ける ④製品の分類 2)新製品開発 ①製品ミックス ②新製品開発の方針 ③新製品開発のプロセス 3)販売計画と生産計画 ①販売計画の立案 ②販売予測の必要性和考え方 ③市場需要を測定する方法 ④売上高を予測する方法 ⑤生産計画の立案 4)製品政策の動向 ①ブランド ②共同開発	【知識・技能】 製品政策の目的や新製品開発プロセス、販売計画や生産計画に関する基本的な知識を理解し、実務に適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 市場分析を基に製品政策を適切に策定し、売上予測や生産計画を論理的に判断し、明確に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 製品政策に関する学習に積極的に取り組み、グループワークやディスカッションを通じて他者と協力し、学びを深める姿勢を評価する。	○	○	○	11
	【単元(8)】	1)価格政策の概要	【知識・技能】				

6章 価格政策 【知識及び技能】 価格政策の基本概念、価格設定の種類や方法（コスト、競争、消費者心理、製品ミックスを考慮した設定）を理解し、価格設定に関する諸制度について習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 価格設定方法を実際の市場環境や消費者心理に基づいて分析し、適切な価格政策を立案・提案できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 価格政策に関する知識を積極的に学び、グループワークやディスカッションを通じて協力しながら価格設定戦略を実践的に学ぶ姿勢を育む。	①価格政策の目的 ②価格の種類 ③消費者にとっての価格 ②価格の設定方法 ①コストに基づく価格設定 ②競争に基づく価格設定 ③消費者心理に基づく価格設定 ④新製品導入時の価格設定 ⑤製品ミックスを考慮した価格設定 ⑥価格設定に関する諸制度 ③価格政策の動向 ①価格設定の新展開 ②キャッシュレス決済の新展開	価格政策の目的や価格設定方法について理解し、異なる価格設定アプローチを実務に応じて適用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 市場動向や消費者心理を考慮し、具体的な状況に基づいた価格設定戦略を適切に分析・判断し、論理的に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 価格政策に関する学びに積極的に取り組み、実際のケーススタディやディスカッションに参加し、グループでの協力を通じて学習を深める姿勢を評価する。	○	○	○	12
【単元⑨】 中間考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
【単元⑩】 7章 チャンネル政策 【知識及び技能】 チャンネル政策の基本概念（直接流通、間接流通）、流通の機能について理解し、チャンネルの選択や管理方法を習得する。また、ICTの進展やインターネット通販など、チャンネル政策の最新動向を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 チャンネルの長さや取引回数、選択と管理において、実際のビジネス環境を考慮して適切な戦略を立案・提案する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 チャンネル政策に関する学びを深め、ICTやインターネット通販などの新しい流通手段に対して積極的に関心を持ち、学びを広げる姿勢を育む。	①チャンネル政策の概要 ①直接流通と間接流通 ②流通の機能 ②チャンネルの選択と管理 ①チャンネルの長さや取引回数 ②チャンネルの選択 ③チャンネルの管理 ③チャンネル政策の動向 ①ICTの進展 ②製販連携の進展 ③インターネット通販の進展	【知識・技能】 チャンネル政策に関する基本的な知識（流通の機能や種類）を理解し、実務において適切にチャンネルの選択や管理方法を適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 市場や商品に最適な流通チャンネルを選択し、管理するための戦略を分析し、論理的に判断・表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 チャンネル政策の学習に積極的に取り組み、インターネット通販やICTの進展に関心を持ち、実際のビジネスでの応用を考えながら学びを深める姿勢を評価する。	○	○	○	11
【単元⑪】 8章 プロモーション政策 【知識及び技能】 プロモーション政策の基本的な概念と具体的なプロモーション手法（広告、広報、セールス・プロモーションなど）を理解し、それぞれのプロモーション方法に対する消費者の反応を把握する。また、技術やメディアの変化に伴う新展開を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまなプロモーション手法の効果を分析し、消費者の反応を予測したうえで、効果的なプロモーション戦略を立案・提案できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 プロモーション政策に関する知識を積極的に学び、最新の技術やメディアの変化について	①プロモーション政策の概要 ①具体的なプロモーション ②プロモーションへの消費者の反応 ②プロモーションの種類 ①広告 ②広報 ③セールス・プロモーション ④販売員活動 ⑤統合型マーケティング・コミュニケーション ③プロモーション政策の動向 ①メディアの変化による新展開 ②技術の進化による新展開 ③プロモーションに関する規制と倫理	【知識・技能】 プロモーション政策の基本概念（広告、広報、セールス・プロモーション）について理解し、実務において適切にプロモーション戦略を策定できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 異なるプロモーション手法を比較・分析し、それぞれの効果を論理的に判断し、適切な提案を行う能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 プロモーション政策に関する学習を積極的に深め、最新の技術やメディアの変化について	○	○	○	12

	的に学び、最新の技術やメディアの変化に対応した新たな戦略を考える姿勢を育む。		へ関心を持ち、自らの学びに反映させる態度を評価する。				
3 学 期	【単元12】 期末考査(授業内テスト)		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】						
3 学 期	【単元13】 9章 マーケティングのひろがり	1)さまざまなマーケティング戦略 ①製品ライフサイクル別の戦略 ②市場地位別の戦略 2)サービス・マーケティング ①サービスの定義と特性 ②サービス・エンカウンター	【知識・技能】 各マーケティング戦略（製品ライフサイクル別、市場地位別など）や手法について理解し、適切に適用できる知識・技能を評価する。				
	【知識及び技能】 さまざまなマーケティング戦略（製品ライフサイクル別、市場地位別）、サービスマーケティング、小売マーケティング、観光地マーケティング、グローバルマーケティング、ソーシャルマーケティングの基本概念を理解し、それぞれの戦略や特性を習得する。	3)小売マーケティング ①出店 ②仕入計画 ③陳列 ④在庫管理	【思考・判断・表現】 マーケティング戦略を状況に合わせて分析し、実際のケースに基づいた適切な戦略を提案し、論理的に表現できる能力を評価する。	○	○	○	10
	【思考力、判断力、表現力等】 マーケティング戦略や手法を分析し、具体的な市場や状況に応じた戦略を立案し、適切に表現・提案する能力を養う。	4)観光地マーケティング ①観光地マーケティングの概要 ②観光地マーケティングの課題	【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】 マーケティングの多様な領域について積極的に学び、実際の市場や社会における課題に対して創造的に取り組む姿勢を育む。	5)グローバル・マーケティング ①文化と消費者行動 ②海外市場における戦略 6)ソーシャル・マーケティング ①非営利組織のマーケティング ②社会的責任のマーケティング	マーケティングに関する学びを積極的に深め、さまざまな分野（小売、観光、グローバル、ソーシャルなど）における戦略に対して主体的に学び、グループ活動などを通じて協力する姿勢を評価する。				
	【単元14】 学年末考査(授業内テスト)		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】						
							105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 商業 科目 総合実践

教 科： 商業 科 目： 総合実践 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：使用なし

教科 商業	の目標：
【知 識 及 び 技 能】	商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】	商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 総合実践 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、ビジネスを通じ地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。 商業の各分野について実務に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	商業の各分野の学習に関連する職業や業務に関し、地域や産業界と連携して具体的な実務について理解を深める学習活動及び実務に即して知識、技術などを総合的に活用する学習活動を通して、ビジネスを担う担当者としての意識を高めるとともに、ビジネスの実務に対応することができるようにする。	ビジネスの実務における課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ビジネスの実務に対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【単元1】 開始業務・オリエンテーション 会社組織を意識した市場取引	・開始業務・オリエンテーション ・会社組織を意識した市場取引 ・授業を受けるにあたっての注意点 ・会社の開始に必要な準備	【知識・技能】 会社組織を意識した授業であり、かつ簿記や情報処理、商業の総合的な知識を必要とする科目であることを理解する。				
	【知識及び技能】 会社組織を意識した授業 簿記や情報処理、商業の総合的な知識を必要とする科目であることを理解する。	会社開業の業務と同時に1学期には、ビジネスマナー・ペン習字・ビジネスに携わる身だしなみの検査など幅広い実践内容を学ぶ。	【思考・判断・表現】 会社組織の一員であり、自らの会社を経営する責任感と他会社と協働して発展していく学習の心構えを養い、営業日誌に記録させる。	○	○	○	2
	【思考力、判断力、表現力等】 会社組織の一員であり、自らの会社を経営する責任感と他会社と協働して発展していく学習の心構えを養う。		【主体的に学習に取り組む態度】 自らの会社を経営する責任感を時間厳守、正しい身だしなみ、および授業準備で表し、他会社と協働して発展していく心構えを記録に残す。				
	【学びに向かう力、人間性等】 自らが会社を経営する責任感を態度で示し、他会社と協働して発展していく学習の心構えを記録で残し営業日誌に反映させる。						
	【単元2】 開始業務・開業時に必要な取引 開業時の財務状況から必要な伝票、帳簿作成など簿記の知識からなる業務。	・開始業務・開業時に必要な取引 ・開業時の財務状況から必要な伝票、帳簿作成など簿記の知識からなる業務。	【知識・技能】 開業仕訳、伝票記入、当座預金出納帳作成、小切手帳や領収証の作成等、主に簿記に関する知識と実務技能から開業の準備をする。				
	【知識及び技能】 開業仕訳、伝票記入、当座預金出納帳作成、小切手帳や領収証の作成等、主に簿記に関する知識と実務技能から開業の準備をする。		【思考・判断・表現】 具体的な開業に関わる知識と技能について学び、簿記や財務会計の授業からの応用を自らの会社開業という形で表現する。	○	○	○	2
	【思考力、判断力、表現力等】 具体的な開業に関わる知識と技能について学び、簿記や財務会計の授業からの応用を自らの会社開業という形で表現する。		【主体的に学習に取り組む態度】 自己の会社が開業の運びとなり、さらなる発展を目指すように思える力を養う。				
	【学びに向かう力、人間性等】 自己の会社が開業の運びとなり、さらなる発展を目指すように思える力を養う。						
	【単元3】 指定取引 仕入業務、販売業務	指定取引 ・売買取引の商品の流れ ・相手市場の確認 ・仕入業務、販売業務	【知識・技能】 市場の相手、価格を指定して取引をする。売買取引の商品の流れを確認したら相手市場に電話によるアプローチを経て、仕入業務、販売業務を行う。				
	【知識及び技能】 市場の相手、価格を指定して取引をする。売買取引の商品の流れを確認したら相手市場に電話によるアプローチを経て、仕入業務、販売業務を行う。		【思考・判断・表現】 ビジネス基礎で学んだ売買取引の流れを応用できるか。相手市場と正しい手順で商品売買の取引ができるか学習する。	○	○	○	9
	【思考力、判断力、表現力等】 ビジネス基礎で学んだ売買取引の流れを応用できるか。相手市場と正しい手順で商品売買の取引ができるか学習する。		【主体的に学習に取り組む態度】				

	【学びに向かう力、人間性等】 仕入取引、販売取引とも売買に必要な取引業務および書類作成が多い。また相手とのコミュニケーション能力も必要なため、実務における課題解決の力を養うことができる。	仕入取引、販売取引とも売買に必要な取引業務および書類作成が多い。また相手とのコミュニケーション能力も必要なため、実務における課題解決の力を付ける。					
	【単元(4)】 月末業務 給料の支払い 等 【知識及び技能】 簿記、財務会計の知識から仕訳、伝票起草、帳簿締め切り等の処理を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの会社月末業務を行い、一連の会社業務の流れを理解する。簿記、財務会計の知識から正しい仕訳、伝票起草、帳簿締め切り等の処理を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの会社月末業務を行い、一連の会社業務の流れを理解する。簿記、財務会計の知識から正しい仕訳、伝票起草、帳簿締め切り等の処理を行う。	月末業務 ・給料の支払い ・水道光熱費の処理 ・未払金の処理 ・帳簿の締め切り	【知識・技能】 簿記、財務会計の知識から仕訳、伝票起草、帳簿締め切り等の処理を行う。 【思考・判断・表現】 自らの会社月末業務を行い、一連の会社業務の流れを理解する。簿記、財務会計の知識から正しい仕訳、伝票起草、帳簿締め切り等の処理を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	3
	【単元(5)】 自由取引 仕入業務、販売業務 【知識及び技能】 市場の相手、価格を自分で交渉して取引をする。売買取引の商品の流れを確認したら相手市場に電話によるアプローチを経て、仕入業務、販売業務を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネス基礎で学んだ売買取引の流れを応用できるか。相手市場と正しい手順で商品売買の取引ができるか学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 仕入取引、販売取引とも売買に必要な取引業務および書類作成が多い。また相手とのコミュニケーション能力も必要なため、実務における課題解決の力を養うことができる。	自由取引 ・売買取引の商品の流れ ・相手市場の確認 ・仕入業務、販売業務 指定取引と違い、価格交渉や相手の決定にコミュニケーション能力が大いに必要となる。	【知識・技能】 市場の相手、価格を自分で交渉して取引をする。売買取引の商品の流れを確認したら相手市場に電話によるアプローチを経て、仕入業務、販売業務を行う。 【思考・判断・表現】 ビジネス基礎で学んだ売買取引の流れを応用できるか。相手市場と正しい手順で商品売買の取引ができること。 【主体的に学習に取り組む態度】 仕入取引、販売取引とも売買に必要な取引業務および書類作成が多い。また相手とのコミュニケーション能力も必要なため、実務における課題解決の力を付ける。	○	○	○	5
	【単元(6)】 1学期のまとめ ・会社設立と売買取引の流れ まとめ ・ビジネスマナー 確認 ・期末考査確認 ・提出物の整理、片づけ 【知識及び技能】 1学期のまとめ ・会社設立と売買取引の流れ まとめ ・ビジネスマナー 確認 ・期末考査確認 ・提出物の整理、片づけ 【思考力、判断力、表現力等】 1学期に学習した内容を提出物、考査に反映することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 1学期に学んだ内容を活かし、2学期ではさらなる学びにつなげることができる。	1学期のまとめ ・会社設立と売買取引の流れ まとめ ・ビジネスマナー 確認 ・期末考査確認 ・提出物の整理、片づけ	【知識・技能】 1学期のまとめ ・会社設立と売買取引の流れ ・ビジネスマナー 確認 ・期末考査確認 ・提出物の整理、片づけ 理解していること 【思考・判断・表現】 1学期に学習した内容を提出物、考査に反映できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1学期に学んだ内容を活かし、2学期ではさらなる学びにつなげることができる。	○	○	○	1
2学期	【単元(7)】 キャリア甲子園ガイダンス 【知識及び技能】 会社組織を理解する。会社組織の中での自分の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた業務から、必要な業務を洗い出し、仕事を見出だす。 【学びに向かう力、人間性等】 会社組織の中で、積極的に業務を遂行する。	・2学期ガイダンス ・キャリア甲子園とは ・チーム（部署）を作る ・社長へのヒアリング ・社内会議Ⅰ ・担当業務の遂行 ・社内会議Ⅱ ・社内会議Ⅱ ・社長への提案 ・業務の振り返り ・キャリア甲子園 ・企業を決定する ・企業を調査研究する	【知識・技能】 会社組織を理解することができる。会社組織の中での自分の役割を理解することができる。 【思考・判断・表現】 、必要な業務を洗い出し、仕事を見出だすことができるか。集めたデータをもとに分析ができていくか。 【主体的に学習に取り組む態度】 会社組織の中で、積極的に業務を遂行しようとしているか。	○	○	○	

【単元8】 企業からのテーマ分析 【知識及び技能】 企業の調査・研究をする 【思考力、判断力、表現力等】 与えられたテーマを分析し、思考し、企画として表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 チームワークを意識し、相手の意見を踏まえながら企画をまとめる	・テーマを分析する ・新しい企画を考える	【知識・技能】 企業の基本情報をまとめることができる。 マーケティングの手法を用いて分析することができる。 【思考・判断・表現】 与えられたテーマをデータや資料を根拠に分析し、企画書に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 チームワークを意識し、相手の意見を踏まえながら企画をまとめることができる。	○	○	○	
	・新しい企画を考える					
	・ブラッシュアップする					
	・企画書と発表資料の作成					
【単元9】 新商品やサービスの企画 【知識及び技能】 企画書にまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 商品やサービスの企画をブラッシュアップしていく。 【学びに向かう力、人間性等】 ブラッシュアップしながら、仲間と協働しながら企画を仕上げていく。	・企画書と発表資料の作成	【知識・技能】 企画書にまとめる。 【思考・判断・表現】 商品やサービスの企画をブラッシュアップしていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ブラッシュアップしながら、仲間と協働しながら企画を仕上げていく。	○	○	○	
	・企画書と発表資料の作成					
	・企画書と発表資料の作成					
	・企画書プレゼン提出					
【単元10】 新商品やサービスの企画 【知識及び技能】 企画書にまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 商品やサービスの企画をブラッシュアップしていく。 【学びに向かう力、人間性等】 ブラッシュアップしながら、仲間と協働しながら企画を仕上げていく。	・企画書と発表資料の作成	【知識・技能】 企画書にまとめる。 【思考・判断・表現】 商品やサービスの企画をブラッシュアップしていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ブラッシュアップしながら、仲間と協働しながら企画を仕上げていく。	○	○	○	
	・企画書と発表資料の作成					
	・企画書と発表資料の作成					
	・企画書プレゼン提出					
【単元11】 新商品やサービスの企画 【知識及び技能】 チームでまとめた企画をプレゼンテーションする。 【思考力、判断力、表現力等】 チームで考案した企画を的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 チームで企画した内容を積極的に発表する。他チームの発表を主体的に聞く。	・企画プレゼン発表	【知識・技能】 チームでまとめた企画をプレゼンテーションすることができる。 【思考・判断・表現】 チームで考案した企画を的確に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 チームで企画した内容を積極的に発表することができる。他チームの発表を主体的に聞くことができる。	○	○	○	
	・企画プレゼン発表					
	・企画プレゼン発表					
	・活動の振り返り					
【単元12】 新商品やサービスの企画 【知識及び技能】 チームでまとめた企画をプレゼンテーションする。 【思考力、判断力、表現力等】 チームで考案した企画を的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 チームで企画した内容を積極的に発表する。他チームの発表を主体的に聞く。	・企画プレゼン発表	【知識・技能】 チームでまとめた企画をプレゼンテーションすることができる。 【思考・判断・表現】 チームで考案した企画を的確に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 チームで企画した内容を積極的に発表することができる。他チームの発表を主体的に聞くことができる。	○	○	○	
	・企画プレゼン発表					
	・企画プレゼン発表					
	・活動の振り返り					
【単元13】 ライフデザイン：正社員とフリーターの違いについて	自分の人生を計画的かつ豊かに送るために、高校卒業後のライフイベントをひとつひとつ取り上げ、そのイベントから必要となる知識やスキルを身につける。	【知識・技能】 講師の派遣も検討し、正社員とフリーターの雇用形態				

3 学 期	【知識及び技能】 正社員とフリーターの雇用形態、生涯賃金の違いについて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 講義で得た知識や学びを通して自分の考えをまとめ、発表できる力を付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 講義を聞く姿勢、自主的に調べる力、自己の考えと他者の意見の違いを比較するなどの学びに向かう態度を養う。	賃金を考え計算し、ライフイベントの知識も併せて学ぶ。 ライフイベントに関係のある事柄を調べ、より確かな情報を収集し、自分の人生の計画に役立てることを目指す。 ・正社員とフリーターの雇用形態、生涯賃金の違いを学習する。	異人・異文化への理解の重要性、生涯賃金の違いについて学ぶ。 【思考・判断・表現】 講義で得た知識や学びを通して自分の考えを発表できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 講義を聞く姿勢、自主的に調べる力、自己の考えと他者の意見の違いを比較するなどの学びに向かう力を付ける。	○	○	○	
	【単元14】 ライフデザイン：生活設計・マネープランについて 【知識及び技能】 マネープランの教材を通して知識・技能を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの生涯設計を思考し、具体的なプランを作成し発表、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの生涯設計を思考し、具体的なプランを作成し発表、表現すると同時に他者のプランとの違いを比較するなど学びに向かう力を養う。	・「生活設計・マネープラン」教材を使用して学習する。	【知識・技能】 マネープランの教材として金融経済教育推進機構による資料なども活用し、知識・技能を得る。 【思考・判断・表現】 自らの生涯設計を思考し、具体的なプランを作成し発表、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの生涯設計を思考し、具体的なプランを作成し発表、表現すると同時に他者のプランとの違いを比較するなど学びに向かう力を付ける。	○	○	○	
	【単元15】 ライフデザイン：生命保険について 【知識及び技能】 講師の派遣、生命保険文化センターからの資料等、生命保険について幅広い知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 生命保険に対する知識を得て、自分の考えをまとめる。自らの生涯について生命保険との関わりを考え、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの生涯設計の中で生命保険について考えたことを発表し、他者の考えとの違いを比較するなど学びに向かう力を養う。	・生命保険について「ほけんのキホンfor beginners」他、資料や講師から学ぶ。	【知識・技能】 講師の派遣、生命保険文化センターからの資料等、生命保険について幅広い知識を得る。 【思考・判断・表現】 生命保険に対する知識を得て、自分の考えをまとめる。自らの生涯について生命保険との関わりを考え、発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの生涯設計の中で生命保険について考えたことを発表し、他者の考えとの違いを比較できる。	○	○	○	
	【単元16】 ライフデザイン：資産形成について 【知識及び技能】 金融庁HPの第4章などを参照し、資産形成に必要な知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 資産形成について必要な知識や資産形成の方法において伴うリスクなどを学び、自らの生涯において関わり方を考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの生涯設計の中で資産形成について考えたことを発表し、他者の考えとの違いを比較するなど学びに向かう力を養う。	・資産形成について、貯める・増やすを考える。	【知識・技能】 金融庁HPの第4章などを参照し、資産形成に必要な知識を得る。 【思考・判断・表現】 資産形成について必要な知識や資産形成の方法において伴うリスクなどを学び、自らの生涯において関わり方を考えられるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの生涯設計の中で資産形成について考えたことを発表し、他者の考えとの違いを比較できる。	○	○	○	
	【単元17】 ライフデザイン：自身のライフプランの作成 【知識及び技能】 「10代からまなぶパーソナルファイナンス」「若手社会人のマネー&ライフプラン」「学生生活マネー&キャリア」「君とみらいとライフプラン」を使用し知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の知識に加え、今まで学んだ知識から自らのライフイベントを考え、ライフプランシートを作成する。	・「10代からまなぶパーソナルファイナンス」「若手社会人のマネー&ライフプラン」「学生生活マネー&キャリア」「君とみらいとライフプラン」を使用し、自分のライフプランシートを作成する。	【知識・技能】 「10代からまなぶパーソナルファイナンス」「若手社会人のマネー&ライフプラン」「学生生活マネー&キャリア」「君とみらいとライフプラン」を使用し知識を得る。 【思考・判断・表現】 上記の知識に加え、今まで学んだ知識から自らのライフイベントを考え、ライフプランシートを作成する力を付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	

	【学びに向かう力、人間性等】 自らのライフプランシートを作成・発表し、他者のプランとの違いを比較するなど学びに向かう力を養う。		自らのライフプランシートを作成・発表し、他者のプランとの違いを比較できる力を付ける。				
							105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 商業 科目 課題研究

教 科： 商業 科 目： 課題研究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：使用なし

教科 商業	の目標：
【知 識 及 び 技 能】	商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】	商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。
科目 課題研究	の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	課題解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【単元(1)】 導入課題	考えるための技法 課題解決	【知識・技能】 課題や社会問題等の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。				19
	【知識及び技能】 課題や社会問題等の解決に生かすことができる知識と技能を身に付ける。		【思考・判断・表現】 課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付け、適用される場面を思考・判断することができる。	○	○	○	
	【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付け、適用される場面を思考・判断する。		【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習する。						
	【単元(2)】 中間考查		【知識・技能】				1
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】						
	【単元(3)】 課題探究	「商業施設カメクロ:集客のためのイベント案」の企画	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。				18
	【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付ける。	課題発表	【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。	○	○	○	
	【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決する。		【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習する。						
	【単元(4)】 期末考查		【知識・技能】				
	【知識及び技能】						

	【思考力、判断力、表現力等】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【学びに向かう力、人間性等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
2 学 期	【単元⑦】 選択課題探究	エリアディプロマメント ソーシャルデザイン ビジネスデザイン ビジネスツーリズム コーポレートオペレーション 金融リテラシー	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。				
	【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付ける。	課題発表	【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。	○	○	○	48
	【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決する。		【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習する。						
3 学 期	【単元⑬】 活動報告	活動報告書	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。				
	【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付ける。		【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。	○	○	○	18
	【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決する。		【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習する。						
							105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 商業 科目 財務会計Ⅱ

教 科： 商業 科 目： 財務会計Ⅱ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： 7 実教 商業742 財務会計Ⅱ

教科 商業	の目標：
【知識及び技能】	商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】	商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 財務会計Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
財務会計Ⅱでは、企業の財務状況を正確に把握するための基本的な会計処理技術を得ることを目指します。資産、負債、純資産、収益、費用などの会計処理に関する理論と実務を学び、連結財務諸表や税効果会計、リース会計など複雑なテーマを体系的に理解します。	財務会計Ⅱを通して、会計データの分析を行い、企業の経営状況を正確に評価できる思考力を養います。さまざまな会計基準やルールを適切に判断し、実際の事例に基づいて論理的に表現する能力を高め、問題解決能力を育成します。	財務会計Ⅱでは、実務に役立つ会計知識を積極的に学び、自己学習を通じて問題解決能力を高めます。また、チームでの議論や課題解決を通じて協力する力を養い、専門的な倫理観を持ち、社会的責任を果たす姿勢を育てます。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【単元(1)】 1章 財務会計の基本概念	財務報告の目的	【知識・技能】 財務報告の目的や財務諸表の構成要素について正確に理解し、知識を基に正しく説明できるかを評価する。				
	【知識及び技能】 財務報告の目的と財務諸表の構成要素を理解し、正確に説明できる能力を身につける。	財務諸表の構成要素	【思考・判断・表現】 財務諸表の認識と測定方法に関する理解を活かし、具体的な事例を通じて論理的に分析・表現できるかを評価する。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 財務諸表の認識と測定方法を理解し、実際のデータを用いて論理的に分析できる能力を養う。	財務諸表の構成要素の認識と測定	【主体的に学習に取り組む態度】 財務会計の理解を深め、グループディスカッションや個別学習に積極的に取り組み、自ら課題に挑戦する態度を評価する。				
	【学びに向かう力、人間性等】 財務会計に関する学びを深め、課題解決に向けて積極的に取り組む姿勢を育む。						
	【単元(2)】 2章 資産負債アプローチと収益費用アプローチ	資産負債アプローチと収益費用アプローチの意味	【知識・技能】 資産負債アプローチと収益費用アプローチの意味とそれぞれの特徴について正確に説明できるかを評価する。				
	【知識及び技能】 資産負債アプローチと収益費用アプローチの意味を理解し、利益計算との関連を把握する。	資産負債アプローチ・収益費用アプローチと利益計算	【思考・判断・表現】 両アプローチの違いと利益計算への影響について、具体的な事例を使って論理的に分析し、表現できるかを評価する。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 各アプローチの違いを分析し、具体的な事例を基にその適用方法を論理的に表現する。		【主体的に学習に取り組む態度】 会計アプローチに関する学びを深め、授業や課題に積極的に取り組み、自ら学びを進める姿勢を評価する。				
	【学びに向かう力、人間性等】 会計アプローチに対する理解を深め、実務に活かす方法を積極的に学び、探求する態度を育む。						
	【単元(3)】 3章 会計基準の国際的統合	わが国の会計基準	【知識・技能】 わが国の会計基準と国際会計基準の特徴、対応方法について正確に理解し、説明できるかを評価する。				
	【知識及び技能】 わが国の会計基準の特徴と、国際会計基準への対応を理解し、会計基準の統合過程を学ぶ。	会計基準の国際的統合	【思考・判断・表現】 会計基準の国際的統合の過程における課題と対応策を論理的に分析し、具体的な意見を表現できるかを評価する。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 会計基準の国際的統合の重要性を分析し、わが国の対応策について論理的に評価し、表現する。	わが国の会計基準の特徴と国際会計基準への対応					

2 学 期	画し衣現する。 【学びに向かう力、人間性等】 会計基準の統合に関する学びを深め、国際的視野を持って学習に取り組む姿勢を育む。		【主体的に学習に取り組む態度】 会計基準の国際的統合に関して積極的に学び、グループディスカッションや自主学習を通じて深める姿勢を評価する。				
	【単元(4)】 4章 資産会計 【知識及び技能】 資産の評価基準や評価方法、減損の会計処理について理解し、実務に即した技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 資産の評価や減損処理に関する理論を適用し、具体的な事例を基に論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 資産会計に関する学びを深め、実務に活かす方法を積極的に学び、探求する姿勢を育む。	資産の評価基準 資産の評価方法 減損の会計処理	【知識・技能】 資産評価基準や評価方法、減損処理に関する知識を正確に理解し、実務において適用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 資産の評価や減損処理に関する理論を活用し、実際の事例を分析して論理的に解答を導く能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 資産会計に関して積極的に学び、実務の中でその知識を活かす方法を模索する態度を評価する。	○	○	○	6
	【単元(5)】 5章 負債会計 【知識及び技能】 負債の意味と評価方法、社債、退職給付引当金、資産除去債務の計上と評価基準を理解し習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 各負債項目の評価方法を適用し、理論を実務事例に基づき論理的に分析できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 負債会計に関する理解を深め、実務に役立つ知識を積極的に学び、解決策を模索する姿勢を育む。	負債の意味と評価 社債 退職給付引当金 資産除去債務	【知識・技能】 負債の意味、評価方法、社債や退職給付引当金などの基本的な知識を正確に理解し、実務に適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 各負債項目の会計処理や評価方法を適切に判断し、具体的な事例を用いて論理的に説明できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 負債会計に関連する知識を積極的に学び、課題解決に向けて自ら探求し、実務に活かす方法を模索する姿勢を評価する。	○	○	○	6
	【単元(6)】 6章 純資産会計 【知識及び技能】 純資産の分類とその意味、新株予約権、分配可能額の計算方法、株主資本等変動計算書の作成方法を理解し習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 純資産に関する理論を適用し、実際の財務諸表に基づいて計算・作成し、論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 純資産会計に関する理解を深め、実務での活用方法を積極的に学び、問題解決に取り組む姿勢を育む。	純資産の意味と分類 新株予約権 分配可能額の計算 株主資本等変動計算書の作成	【知識・技能】 純資産の意味、分類、新株予約権、分配可能額の計算方法、株主資本等変動計算書作成について、正確に理解し、実務に応用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 財務諸表における純資産の計算や表現方法を論理的に判断し、具体的な事例を通じて適切に説明できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 純資産会計の学習を積極的に深め、自己学習やディスカッションを通じて理解を深め、課題解決に向けて主体的に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	6
	【単元(7)】 7章 損益会計 【知識及び技能】 収益と費用の基本的な概念、損益計算基準（収益認識基準）を理解し、商品販売および工事契約における会計処理方法を習得する。	収益と費用 損益計算の基準「収益認識に関する会計基準」	【知識・技能】 収益と費用の認識、損益計算基準に関する知識を正確に理解し、実務に適用できる能力を評価する。商品販売や工事契約の会計処理を正確に行えるか。 【思考・判断・表現】 収益認識基準や損益計算方法を活用し、商品販売や工事契約の事例に対して適切に分析・判断し、論理的に説明で	○	○	○	6

【思考力、判断力、表現力等】 収益認識基準や損益計算方法を具体的な事例に適用し、適切な会計処理を行い、論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 損益会計に関する知識を深め、実務に役立つ計算方法や判断基準を積極的に学び、問題解決に取り組む姿勢を育む。	商品販売の形態と会計処理	きる能力を評価する。				
	工事契約	【主体的に学習に取り組む態度】 損益会計の学習を積極的に深め、実務における課題解決に向けて自主的に取り組む姿勢を評価する。				
【単元⑧】 8章 リース会計 【知識及び技能】 リース取引の意味と分類、ファイナンス・リースおよびオペレーティング・リースの会計処理を理解し、正しく実行できる技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 各リース取引の会計処理方法を具体的な事例に基づいて分析し、適切に判断・表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 リース会計に関する知識を積極的に学び、実務での問題解決に役立てるための探求心を育む。	リース取引の意味と分類	【知識・技能】 リース取引の分類や、借手・貸手の会計処理方法について正確に理解し、実務に適用できる能力を評価する。				
	ファイナンス・リース取引の借手の会計処理	【思考・判断・表現】 ファイナンス・リースやオペレーティング・リース取引の会計処理を論理的に判断し、事例を通じて適切に表現できるかを評価する。	○	○	○	6
	オペレーティング・リース取引の借手の会計処理	【主体的に学習に取り組む態度】				
	ファイナンス・リース取引の貸手の会計処理	リース会計に関連する学びを深め、実務上の課題に対して積極的に取り組む姿勢を評価する。				
【単元⑨】 9章 税効果会計 【知識及び技能】 利益と課税所得の関係、税効果会計の基本的な意味、一時差異や繰延税金資産・負債の処理方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 税効果会計における一時差異や繰延税金資産・負債の計算方法を実務に基づいて論理的に適用できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 税効果会計について積極的に学び、課題解決に取り組む姿勢を育み、実務に役立つ知識を身につける。	利益と課税所得	【知識・技能】 税効果会計の基本的な概念、利益と課税所得の関係、一時差異・繰延税金資産・負債について正確に理解し、適用できるかを評価する。				
	税効果会計の意味	【思考・判断・表現】 税効果会計における一時差異や繰延税金資産・負債の計算方法を適切に判断し、論理的に表現できる能力を評価する。	○	○	○	6
	一時差異と繰延税金資産・負債	【主体的に学習に取り組む態度】				
		税効果会計に関する理解を深め、実務や課題に積極的に取り組み、問題解決に向けて主体的に学ぶ姿勢を評価する。				
【単元⑩】 10章 外貨換算会計 【知識及び技能】 外貨建取引の意義と為替換算、為替差損益の計算、外貨建項目の会計処理を理解し、適切に実行する。 【思考力、判断力、表現力等】 外貨建取引の会計処理を分析し、為替予約を利用したリスク管理方法を実務に基づき表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 外貨換算に関する知識を深め、課題に対して主体的に取り組む、実務に活かせる能力を育む。	外貨建取引の意義	【知識・技能】 外貨建取引の意義、為替換算の方法、為替差損益の計算、外貨建項目の決算時の処理方法について理解し、実務に適用できる能力を評価する。				
	為替換算と為替差損益	【思考・判断・表現】 為替差損益や外貨建項目の会計処理について論理的に判断し、具体的なケースに基づいて適切に表現できる能力を評価する。	○	○	○	6
	外貨建取引の基本的な会計処理 外貨建項目の決算時の会計処理	【主体的に学習に取り組む態度】				
	為替予約	外貨換算会計に関する学習を積極的に深め、実務上の課題解決に向けて自らの知識を活用し、学ぶ姿勢を評価する。				
【単元⑪】 11章 キャッシュ・フロー計算書 【知識及び技能】 キャッシュ・フロー計算書の意義や必要性	キャッシュ・フロー計算書の意義と必要性	【知識・技能】 キャッシュ・フロー計算書の意義、表示区分、作成手順について理解し、直接法・間接法を用いて正確に作成できる能力を評価する。				
	キャッシュ・フロー計算書の表示区分 キャッシュ・フローの表示方法	【思考・判断・表現】				

	は、表小の力に反映する観点から評価し、直接法・間接法による作成方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 キャッシュ・フロー計算書の作成手順を理解し、直接法と間接法の違いを適切に分析し、論理的に表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 キャッシュ・フロー計算書に関する学びを深め、実務に活かせる知識を積極的に学び、課題解決に取り組む姿勢を育む。	キャッシュ・フロー計算書の作成手続き	直接法と間接法の作成方法を比較し、各方法の適用方法について論理的に分析し、適切に表現できる能力を評価する。	○	○	○	6
	【主体的に学習に取り組む態度】 キャッシュ・フロー計算書に関する知識を積極的に学び、実務で役立つ技術習得し、課題解決に向けて主体的に学ぶ姿勢を評価する。	直接法によるキャッシュ・フロー計算書の作成例 間接法によるキャッシュ・フロー計算書の作成例	キャッシュ・フロー計算書に関する知識を積極的に学び、実務で役立つ技術習得し、課題解決に向けて主体的に学ぶ姿勢を評価する。				
	【単元12】 12章 企業結合会計 【知識及び技能】 企業結合会計の基本概念と合併会計の手続きを理解し、会計処理方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 企業結合会計の理論と合併会計の適用方法を分析し、具体的な事例を基に論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 企業結合会計に関する学びを深め、実務で活用できる知識を積極的に学び、問題解決に取り組む姿勢を育む。	企業結合会計の意味	【知識・技能】 企業結合会計と合併会計の基礎的な知識を正確に理解し、実務で適切に会計処理を行えるかを評価する。				
		合併会計	【思考・判断・表現】 企業結合会計と合併会計に関する理論を具体的な事例に基づき論理的に分析し、説明できる能力を評価する。	○	○	○	6
			【主体的に学習に取り組む態度】 企業結合会計に関する理解を深め、実務での適用に向けて積極的に学び、問題解決に取り組む姿勢を評価する。				
	【単元13】 13章 連結財務諸表の作成（その1） 【知識及び技能】 連結財務諸表の目的や連結の範囲を理解し、連結決算手続きや支配獲得日後の財務諸表作成方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 支配獲得日の連結貸借対照表の作成手順を理解し、実際の事例を通じて論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 連結財務諸表の作成方法に関する知識を深め、実務で適用できる力を積極的に学び、解決策を模索する姿勢を育む。	連結財務諸表の目的と連結の範囲	【知識・技能】 連結財務諸表の目的、連結範囲、連結決算の手続きについて正確に理解し、実際の財務諸表作成に適用できる能力を評価する。				
		連結決算の手続き	【思考・判断・表現】 支配獲得日や支配獲得日後の連結財務諸表作成方法を論理的に分析し、具体的な事例を通じて適切に表現できるかを評価する。	○	○	○	5
		支配獲得日における連結貸借対照表の作成	【主体的に学習に取り組む態度】 連結財務諸表作成に関する学びを積極的に深め、授業や課題に対して自主的に取り組み、実務に活かす姿勢を評価する。				
		支配獲得日後における連結財務諸表の作成	連結財務諸表作成に関する学びを積極的に深め、授業や課題に対して自主的に取り組み、実務に活かす姿勢を評価する。				
3 学 期	【単元14】 14章 連結財務諸表の作成（その2） 【知識及び技能】 支配獲得までの段階取得や子会社株式の取得・売却に関する会計処理を理解し、連結財務諸表を作成する技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 支配獲得後の子会社株式取得や売却を正しく評価し、連結財務諸表に反映する方法を論理的に表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 連結財務諸表作成に必要な知識を深め、実務に役立つ能力を積極的に学び、解決策を模索する姿勢を育む。	支配獲得までの段階取得	【知識・技能】 支配獲得までの段階取得や子会社株式の取得・売却の会計処理について正確に理解し、連結財務諸表に適切に反映できるかを評価する。				
		支配獲得後における子会社株式の取得	【思考・判断・表現】 子会社株式の取得や売却後の処理を正しく判断し、連結財務諸表におけるその影響を論理的に分析・表現できる能力を評価する。	○	○	○	6
		子会社株式の一部売却	【主体的に学習に取り組む態度】 連結財務諸表作成に必要な知識を積極的に学び、実務の問題解決に向けて主体的に取り組む姿勢を評価する。				
		連結財務諸表の作成	連結財務諸表作成に必要な知識を積極的に学び、実務の問題解決に向けて主体的に取り組む姿勢を評価する。				
	【単元15】 15章 持分法 【知識及び技能】 持分法の意義と適用対象を理解し、会計処理の基本的な方法を習得する。	持分法の意義	【知識・技能】 持分法の意義や適用対象を正確に理解し、適切な会計処理を実務に活用できるかを評価する。				
		持分法の適用対象	【思考・判断・表現】 持分法に基づく会計処理を具体的な事例に基づいて論理的				

【思考力、判断力、表現力等】 持分法に基づく会計処理を実務事例に適用し、論理的に判断し表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 持分法の会計処理に関する知識を深め、実務に活かせる能力を積極的に学び、課題解決に取り組む姿勢を育む。	持分法の会計処理	持分法に関する知識を深め、実務に活かせる能力を積極的に学び、課題解決に取り組む姿勢を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 持分法の会計処理に関する理解を深め、実務に応用できる知識を積極的に学び、問題解決に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	6
【単元16】 16章 連結税効果会計 【知識及び技能】 連結税効果会計の意義、評価差額および未実現損益に係る税効果会計の処理方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 税効果会計の理論を適用し、評価差額や未実現損益に対する税効果処理を論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 連結税効果会計に関する知識を深め、実務で活かすための積極的な学びと課題解決に向けた姿勢を育む。	連結税効果会計の意義	【知識・技能】 連結税効果会計の基本的な概念、評価差額や未実現損益に関する税効果会計の処理方法を理解し、適切に適用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 税効果会計の各種処理を具体的な事例に基づいて論理的に分析し、適切に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 連結税効果会計に関する学びを深め、実務に役立つ知識を積極的に学び、問題解決に向けて主体的に取り組む姿勢を評価する。				
	評価差額に係る税効果会計		○	○	○	6
	未実現損益に係る税効果会計					
【単元17】 17章 財務諸表の活用 【知識及び技能】 企業グループの現状把握、株価の判断材料、企業価値の評価の基礎を理解し、適切に活用できる技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 財務諸表を分析し、株価や企業価値の評価に必要な情報を導き出し、論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 財務諸表の活用に関する理解を深め、実務に活かせる能力を積極的に学び、課題解決に取り組む姿勢を育む。	企業グループの現状把握	【知識・技能】 企業グループの現状把握、株価評価、企業価値評価の基本的な知識を正確に理解し、実務に応用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 財務諸表を用いて企業グループの現状や株価、企業価値を分析し、論理的に評価・表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務諸表の活用方法を積極的に学び、株価や企業価値の評価に対する理解を深め、課題解決に取り組む姿勢を評価する。				
	株価の判断材料		○	○	○	5
	企業価値の評価					
【単元18】 18章 監査と職業会計人 【知識及び技能】 監査の仕組み、財務諸表監査の目的、リスクアプローチ、監査手続きについて理解し、実務に即した処理を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 監査プロセスや監査手続きを理解し、実務事例を基にリスク評価と監査意見を論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 監査業務や職業会計人の役割を理解し、倫理的な視点を持ち積極的に学び、実務への応用に取り組む姿勢を育む。	二つの法律と監査のしくみ	【知識・技能】 監査の仕組みや財務諸表監査の目的、リスクアプローチについて正確に理解し、実務で適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 監査のプロセスや手続きに関する理論を実務事例に基づき適切に分析し、論理的に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 監査に関連する知識を深め、職業会計人としての社会的役割や倫理観を持ち、課題解決に積極的に取り組む姿勢を評価する。				
	財務諸表監査の目的とリスク・アプローチ 監査のプロセスと監査手続		○	○	○	5
	監査意見と監査報告書 監査の品質管理					
	職業会計人の社会的役割と倫理					
						105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 商業 科目 原価計算

教科： 商業 科目： 原価計算 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ D 組

使用教科書： 190東法 商業721 原価計算

教科 商業	の目標：
【知識及び技能】	商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】	商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目	原価計算	の目標：	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	原価計算、原価計算に関する会計処理および原価情報の活用に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている。	唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、原価計算をはじめとしたさまざまな知識、技術などを活用し、原価計算、原価計算に関する会計処理および原価情報の活用の方法の妥当性と実務に適用することにもなる課題を見いだすとともに、原価情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、原価計算に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠にもとづいて工夫してよりよく課題に対応する力が身についている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力および適切な原価管理をおこなう力の向上を目指してみずから原価計算について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、適切な原価の費目別計算、部門別計算、製品別計算などによる原価情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身についている。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元(1)】 原価と原価計算	原価の概念 原価計算の特色と仕組み	【知識・技能】 製造業の特徴や原価の基本的な内容について理解している。				
	【知識及び技能】 製造業の特徴や原価の基本的な内容について理解する。		【思考・判断・表現】 工業簿記と原価計算の関係について理解し、適用される場面を思考・判断することができる。	○	○	○	4
	【思考力、判断力、表現力等】 工業簿記と原価計算の関係について理解し、適用される場面を思考・判断する。		【主体的に学習に取り組む態度】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習しようとする態度が見られる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習する。						
	【単元(2)】 原価の費目別計算	材料費の計算 労務費の計算 経費の計算	【知識・技能】 原価要素の性格とその分類について理解している。原価要素を集計する過程で原価計算表の役割を理解している。				
	【知識及び技能】 原価要素の性格とその分類について理解している。原価要素を集計する過程で原価計算表の役割を理解する。		【思考・判断・表現】 原価計算の目的について理解し、どのような場面で活用されるかについて、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。	○	○	○	16
	【思考力、判断力、表現力等】 原価計算の目的について理解し、どのような場面で活用されるかについて、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付ける。		【主体的に学習に取り組む態度】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習しようとする態度が見られる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習する。						
	【単元(3)】 中間審査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【学びに向かう力、人間性等】						
	【単元(4)】 原価の部門別計算と製品別計算	個別原価計算と製造間接費の計算部門別 個別原価計算	【知識・技能】 部門別個別原価計算の必要性が理解できている。部門費配分表、部門費振替表を作成でき、それぞれ				

2 学 期	【知識及び技能】 部門別個別原価計算の必要性を理解する。部門費配分表，部門費振替表を作成でき，それぞれにもとづき記帳する。 【思考力、判断力、表現力等】 原価部門の設定について部門別計算の目的から考え，各部門の役割について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し，自ら学習する。		にもとづく記帳ができる。 【思考・判断・表現】 原価部門の設定について部門別計算の目的から考え，各部門の役割について表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し，自ら学習しようとする態度が見られる。	○	○	○	17
	【単元(5)】 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	【単元(6)】 原価の部門別計算と製品別計算 【知識及び技能】 単純総合原価計算が用いられる製造業の特徴と総合原価計算のしくみを理解し，単純総合原価計算表を作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 生産形態の違いから，原価計算の方法が異なることを理解し，個別原価計算と単純総合原価計算の違いを見いだす。 【学びに向かう力、人間性等】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し，自ら学習する。	単純総合原価計算	【知識・技能】 単純総合原価計算が用いられる製造業の特徴と総合原価計算のしくみを理解し，単純総合原価計算表を作成できる。 【思考・判断・表現】 生産形態の違いから，原価計算の方法が異なることを理解し，個別原価計算と総合原価計算の違いを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し，自ら学習しようとする態度が見られる。	○	○	○	2
	【単元(7)】 原価の部門別計算と製品別計算 【知識及び技能】 各総合原価計算が用いられる製造業の特徴と総合原価計算のしくみを理解し，各総合原価計算表を作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 生産形態の違いから，原価計算の方法が異なることを理解し，個別原価計算と総合原価計算の違いを見いだす。 【学びに向かう力、人間性等】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し，自ら学習する。	等級別総合原価計算 組別総合原価計算 工程別総合原価計算 総合原価計算における減損と仕損、副産物	【知識・技能】 各総合原価計算が用いられる製造業の特徴と総合原価計算のしくみを理解し，各総合原価計算表を作成できる。 【思考・判断・表現】 生産形態の違いから，原価計算の方法が異なることを理解し，個別原価計算と総合原価計算の違いを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し，自ら学習しようとする態度が見られる。	○	○	○	20
	【単元(8)】 中間考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	【単元(9)】 内部会計 【知識及び技能】	製品の完成と販売 本社・工場会計 製造業の決算	【知識・技能】 製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法や工場会計の独立が理解できている。				

	製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法や工場会計の独立が理解する。		【思考・判断・表現】 製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたり、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えている。	○	○	○	6
	【思考力、判断力、表現力等】 製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたり、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考える。						
	【学びに向かう力、人間性等】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習する。		【主体的に学習に取り組む態度】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習しようとする態度が見られる。				
	【単元10】 標準原価計算	標準原価計算の目的と手続き 原価差異の原因別分析	【知識・技能】 標準原価計算の意義と特色、手続きについて理解できている。				
	【知識及び技能】 標準原価計算の意義と特色、手続きについて理解する。						
	【思考力、判断力、表現力等】 原価差異の算出ができ、その結果から差異の原因について適切に分析する。		【思考・判断・表現】 原価差異の算出ができ、その結果から差異の原因について適切に分析することができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習する。		【主体的に学習に取り組む態度】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習しようとする態度が見られる。				
	【単元11】 直接原価計算	直接原価計算の目的と財務諸表の作成 短期利益計画への活用	【知識・技能】 直接原価計算の意義と特色、手続きや売上高・原価・利益の関係が理解できている。				
	【知識及び技能】 直接原価計算の意義と特色、手続きや売上高・原価・利益の関係を理解する。						
	【思考力、判断力、表現力等】 直接原価計算による損益計算書の形式を理解し、作成する。		【思考・判断・表現】 直接原価計算による損益計算書の形式を理解し、作成できる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習する。		【主体的に学習に取り組む態度】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習しようとする態度が見られる。				
	【単元12】 期末考査		【知識・技能】				
	【知識及び技能】						
	【思考力、判断力、表現力等】		【思考・判断・表現】	○	○	○	1
	【学びに向かう力、人間性等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	【単元12】 総合問題	全商簿記実務検定原価計算1級	【知識・技能】				
	【知識及び技能】						
	【思考力、判断力、表現力等】		【思考・判断・表現】	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
3 学期	【単元13】 総合問題及び発展的な学習	全商簿記実務検定原価計算1級 安全余裕率 原価の変動費と固定費の分解	【知識・技能】 安全余裕率の意味を理解し、求めることができ、高低点法による原価予測ができる。				
	【知識及び技能】 安全余裕率の意味を理解し、求めることができ、高低点法による原価予測する。						
	【思考力、判断力、表現力等】 損益分岐点比率と安全余裕率の意味を理解し、求める。		【思考・判断・表現】 損益分岐点比率と安全余裕率の意味を理解し、求めることができる。	○	○	○	11
	【学びに向かう力、人間性等】		【主体的に学習に取り組む態度】 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習する。				

製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習する。		未習記に興味をなし、日つず習しようとする態度が見られる。				
【単元14】 学年末考査		【知識・技能】				
【知識及び技能】		【思考・判断・表現】				
【思考力、判断力、表現力等】		【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
【学びに向かう力、人間性等】						
						105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 商業 科目 ビジネス法規

教科 商業 科目 ビジネス法規 単位数 3 単位

対象学年組 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書 7実教商業740 ビジネス法規

教科 商業	の目標：
【知識及び技能】	商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】	商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。
科目 ビジネス法規	の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解する。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元①】 法の概要	・ビジネスにおける法の役割 ・法の体系と解釈・適用 ・権利・義務と財産権	【知識・技能】 法の概要について理解している。				
	【知識及び技能】 法の概要について理解する。		【思考・判断・表現】 法の意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて見出している。	○	○	○	15
	【思考力、判断力、表現力等】 法の意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて見出す。		【主体的に学習に取り組む態度】 法の概要について自ら学び、法規に基づく適切なビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 法の概要について自ら学び、法規に基づく適切なビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。						
	【単元②】 企業活動と法規	・株式会社の特徴と機関 ・契約 ・資金調達と金融取引 ・組織再編と清算・再建	【知識・技能】 企業活動に係る法規について企業における事例と関連づけて理解している。				
	【知識及び技能】 企業活動に係る法規について企業における事例と関連づけて理解する。	・競争秩序の確保	【思考・判断・表現】 企業活動に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、課題への対応策を考案して実施し、評価・改善している。	○	○	○	25
	【思考力、判断力、表現力等】 企業活動に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、課題への対応策を考案して実施し、評価・改善する。		【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動に係る法規について自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 企業活動に係る法規について自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組むこと。						
2 学期	【単元⑦】 知的財産と法規	・知的財産の種類 ・知的財産の重要性	【知識・技能】 知的財産に係る法規について企業における事例と関連付けて理解している。				
	【知識及び技能】 知的財産に係る法規について企業における事例と関連付けて理解する。		【思考・判断・表現】 知的財産の保護と活用に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、保護し活用する方策を考案している。	○	○	○	20
	【思考力、判断力、表現力等】 知的財産の保護と活用に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、保護し活用する方策を考案する。		【主体的に学習に取り組む態度】 知的財産に係る法規について自ら学び、適切な保護と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 知的財産に係る法規について自ら学び、適切な保護と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むこと。						
	【単元⑧】 法と法規	・税の種類と法人の納税義務 ・法人税の申告と納付 ・消費税の申告と納付	【知識・技能】 税に係る法規について企業における事例と関連付けて理解している。				

	【知識及び技能】 税に係る法規について企業における事例と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 企業における税の申告と納付に関する課題を発見し、税に関する責任を果たす方策を考案する。 【学びに向かう力、人間性等】 税に係る法規について自ら学び、法規に基づく税に関する適切な手続に主体的かつ協働的に取り組む。		税に関する事例と関連付けで理解している。 【思考・判断・表現】 企業における税の申告と納付に関する課題を発見し、税に関する責任を果たす方策を考案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 税に係る法規について自ら学び、法規に基づく税に関する適切な手続に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	23
3 学 期	【単元20】 企業責任と法規 【知識及び技能】 企業責任に係る法規について企業における事例と関連付けて理解する。	・法令遵守と説明責任 ・労働者の保護 ・消費者の保護 ・情報の保護	【知識・技能】 企業責任に係る法規について企業における事例と関連付けて理解している。				22
	【思考力、判断力、表現力等】 企業責任に関する課題を発見し、企業責任を果たす方策を考案して実施し、評価改善する。	・紛争の予防と解決	【思考・判断・表現】 企業責任に関する課題を発見し、企業責任を果たす方策を考案して実施し、評価改善している。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 企業責任に係る法規について自ら学び、企業の社会的責任を果たすことに主体的・協働的に取り組む。		【主体的に学習に取り組む態度】 企業責任に係る法規について自ら学び、企業の社会的責任を果たすことに主体的・協働的に取り組んでいる。				合計
							105

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元(1)】 1 章 グローバル化が進展する社会① 【知識及び技能】 グローバル化の概念を理解し、世界がどのように繋がって合っているかを学び、身近に感じる海外との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化の進展が社会に与える影響を分析し、多角的に考察することで、論理的な表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 国際的な視野を広げ、多様性を受け入れる態度を身につけ、積極的に異文化や価値観に触れる姿勢を育む。	1 国境を越えて広がる世界 ① 身近に感じる海外 ② 狭くなった世界 ③ グローバル化とは 2 グローバル化する社会 ① グローバル市場の成立 ② 金融とグローバル化 ③ 企業とグローバル化 ④ 社会の多様性とグローバル化	【知識・技能】 グローバル化に関する基礎的な知識を習得し、具体的な事例を通して理解を深める力を評価する。 【思考・判断・表現】 グローバル化の概念を論理的に説明し、グローバル市場や社会の多様性について自分の考えを適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化に関する学びに積極的に取り組み、自己学習を進め、国際的な問題に関心を持つ姿勢を評価する。	○	○	○	6
	【単元(2)】 1 章 グローバル化が進展する社会② 【知識及び技能】 グローバル化と地域経済統合、経済発展に関する基礎知識を学び、グローバル化の影響を実例を通じて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化の進展が地域経済に与える影響や、発展途上国における課題を多角的に考察し、論理的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化に伴う諸問題に対する自らの意見を持ち、積極的に学ぶことで国際社会に対する理解を深める。	3 グローバル化と地域経済統合の動き 4 グローバル化と経済発展 5 グローバル化の諸問題	【知識・技能】 グローバル化と地域経済統合、経済発展に関する知識を理解し、実際の事例と関連付けて適用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 グローバル化の進展や課題を論理的に考察し、自己の意見を適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化に伴う課題に関心を持ち、積極的に学び続ける態度や、自己学習を進める姿勢を評価する。	○	○	○	6
	【単元(3)】 2 章 経営のグローバル化① 【知識及び技能】 多国籍企業の事業展開や、企業がグローバル化する理由を理解し、経営戦略や海外進出方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 企業が海外進出する際の課題を分析し、戦略的な判断を行う力を養い、具体的に表現できるようにする。	1 多国籍企業とグローバル経営 ① 多国籍企業の事業展開 ② 企業がグローバル化する理由 ③ 多国籍企業の経営戦略 2 企業の海外進出とグローバル経営の難しさ ① 進出する国・地域の選択 ② 海外進出の方法 ③ 海外直接投資を行う理由 ④ グローバル経営の難しさ	【知識・技能】 多国籍企業の経営戦略や海外進出方法について、実際の事例をもとに理解し、適切に説明できる力を評価する。 【思考・判断・表現】 企業の海外進出時の課題を論理的に分析し、自分の考えを明確に表現できる能力を評価する。	○	○	○	6
	2 学期						

【学びに向かう力、人間性等】 グローバル経営に関する課題を理解し、積極的に学び、異なる経済文化に対する理解を深める姿勢を育む。		【主体的に学習に取り組む態度】				
		グローバル経営の学びに積極的に取り組み、自己学習を進め、実務への応用を目指す姿勢を評価する。				
【単元(4)】 2章 経営のグローバル化②	3 グローバル経営の現状 ① マザー工場システムと技術移転・技術指導 ② 海外拠点の役割の変化	【知識・技能】 グローバル経営の現状と課題を正確に理解し、具体的な事例をもとに説明できる能力を評価する。				
【知識及び技能】 グローバル経営の現状と課題を理解し、マザー工場システムや現地化の重要性、企業の課題を把握する。	③ 現地化 ④ 小売業・サービス業のグローバル化	【思考・判断・表現】 異文化適応や研究開発のグローバル化などの課題を論理的に分析し、実行可能な解決策を提案できる能力を評価する。	○	○	○	6
【思考力、判断力、表現力等】 グローバル経営における技術移転や異文化適応の問題を論理的に考察し、解決策を提案できる力を養う。	4 グローバル経営の課題 ① 保護主義的通商政策とグローバル経営 ② 研究開発のグローバル化	【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル経営の学びに積極的に取り組み、自己学習を通じて問題解決に向けた考えを深める姿勢を評価する。				
【学びに向かう力、人間性等】 グローバル経営の課題に取り組み、異文化理解を深め、自己学習を進める姿勢を育成する。	③ 異文化適応 ④ グローバル統合とローカル適応					
【単元(5)】 2章 経営のグローバル化③	5 グローバル化に伴う企業の社会的責任 ① グローバル経営と労働問題 ② グローバル経営と環境問題	【知識・技能】 労働問題、環境問題、SDGsに関連する知識を理解し、企業がどのように社会的責任を果たすかを説明できる能力を評価する。				
【知識及び技能】 グローバル経営に伴う労働問題、環境問題、SDGsの重要性を理解し、企業の社会的責任を学ぶ。	③ グローバル経営とSDGs	【思考・判断・表現】 企業の社会的責任に対する自分の考えを論理的に整理し、課題解決の方法を表現できる能力を評価する。	○	○	○	6
【思考力、判断力、表現力等】 労働問題や環境問題に対する企業の対応策を評価し、社会的責任を果たす方法を論理的に表現できるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 SDGsや社会的責任に関して積極的に学び、問題解決に向けて主体的に取り組む姿勢を評価する。				
【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化による企業の社会的責任に関心を持ち、積極的に学ぶことで、持続可能な社会に貢献する姿勢を育成する。						
【単元(6)】 3章 経済のグローバル化①	1 人材のグローバル化 ① 経済のグローバル化と外国人労働者 ② ダイバーシティとダイバーシティ経営	【知識・技能】 グローバル経済に関する基本的な知識を習得し、人材のグローバル化や貿易の国際秩序について説明できる能力を評価する。				
【知識及び技能】 経済のグローバル化に伴う人材の移動や貿易の国際秩序、地域経済統合などの基礎知識を習得し理解を深める。	③ 賃金体系の変化 ④ 人材のグローバル化の現状と課題	【思考・判断・表現】 経済のグローバル化に伴う課題を分析し、解決策を論理的に考察できる力を評価する。意見を明確に表現できることを重視。	○	○	○	6
【思考力、判断力、表現力等】 ダイバーシティ経営や外国人労働者の問題を分析し、経済における自由な取引や国際収支を論理的に説明できるようにする。	2 財とサービスのグローバル化 ① 自由な取引の重要性 ② 貿易の国際秩序	【主体的に学習に取り組む態度】 経済のグローバル化に関連する問題に関心を持ち、積極的に調査し学ぶ姿勢を評価する。学習を通じて国際的視野を広げる態度を評価。				
【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化の進展がもたらす影響を理解し、多様な価値観を受け入れ、積極的に学び続ける姿勢を育成する。	③ 地域経済統合の進展 ④ 国際収支					
【単元(7)】 3章 経済のグローバル化②	3 金融のグローバル化 ① 金融とは何か ② 金融商品 ③ 金融機関	【知識・技能】 金融市場や情報通信技術の基本的な概念を理解し、金融商品や外国為替について適切に説明できる知識を評価する。				
【知識及び技能】 金融市場、金融商品、外国為替、ICTの発展など、金融と情報のグローバル化に関する基本的な知識を理解する。	④ 金融市場 ⑤ 日本の金融 ⑥ 外国為替 ⑦ 金融のグローバル化の現状	【思考・判断・表現】 グローバル化における金融と情報の影響を深く考察し、課題解決に向けて論理的に意見を表現できる能力を評価する。	○	○	○	6
【思考力、判断力、表現力等】 金融と情報のグローバル化の現状や課題を分析し、その影響を論理的に説明し、解決策を考える力を養う。	4 情報のグローバル化 ① 情報通信技術（ICT）の発達 ② 個人情報の利用と管理・保護	【主体的に学習に取り組む態度】				

3 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化に伴う金融や情報の重要性を理解し、積極的に学び続け、社会に対する理解を深める姿勢を育成する。	③ 情報のグローバル化の現状 ④ 情報のグローバル化と課題	金融や情報技術の学習に積極的に取り組み、自分の考えを深め、実生活に応用できる態度を評価する。				
	【単元(8)】 4 章 市場と経済① 【知識及び技能】 需要と供給の理論に基づき、価格決定や市場均衡のメカニズムを理解し、市場の役割と課題を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 需要と供給の変化による市場の動きや価格決定の仕組みを分析し、論理的に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 市場メカニズムを理解し、現実の経済問題にどう適用できるかを考え、積極的に学び続ける姿勢を育成する。	1 需要と供給による市場の理論 ① 財と資源配分 ② 需要と供給	【知識・技能】 需要と供給、価格決定の仕組み、市場均衡についての基本的な知識を理解し、説明できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 市場の仕組みを分析し、価格の変動や市場均衡に関する問題を解決するための論理的思考力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の学びに対して積極的に取り組み、実生活での市場の役割や課題に関心を持つ態度を評価する。	○	○	○	6
	【単元(9)】 4 章 市場と経済② 【知識及び技能】 GDPや実質GDP、物価指数を理解し、経済成長の要因や景気循環の影響を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 実質GDPと名目GDPの違いや景気循環の要因を分析し、経済成長と物価変動について論理的に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 経済成長の要因や景気循環の重要性を理解し、実社会の問題として意識しながら学ぶ姿勢を育成する。	2 経済成長 ① GDP ② 実質GDPと名目GDP	【知識・技能】 GDPや実質GDP、物価指数、景気指標についての基本的な知識を理解し、それらを正確に使いこなせる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 経済成長や景気循環に関する課題を分析し、経済指標を使って問題解決を図る論理的思考力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済学の基本概念や現実社会における経済の影響に対し、積極的に調査し、問題解決に向けて学び続ける姿勢を評価する。	○	○	○	6
	【単元(10)】 4 章 市場と経済③ 【知識及び技能】 政府の役割や予算制度、税制、社会保障制度など、経済政策の基本的な仕組みと機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 財政赤字、国債、金融政策の影響を分析し、政策が経済に与える影響について論理的に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 経済政策の現状と課題に積極的に関心を持ち、社会全体に与える影響について深く学び続ける姿勢を育成する。	4 経済政策 ① 政府の役割 ② 国の予算制度 ③ 社会保障制度	【知識・技能】 政府の役割、税制、社会保障、財政赤字、金融政策についての基本的な知識を理解し、事例に基づいて適切に説明できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 経済政策の現状と課題を深く分析し、政策が社会や経済に及ぼす影響を論理的に表現できる力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 政府の経済政策やその効果について学び、積極的に学習に取り組み、実社会に関連付けて考え続ける態度を評価する。	○	○	○	6
							105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 商業 科目 ネットワーク活用

教 科： 商業 科 目： ネットワーク活用 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： 7商業749 ネットワーク活用

教科 商業	の目標：
【知 識 及 び 技 能】	商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う
【思考力、判断力、表現力等】	商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める
【学びに向かう力、人間性等】	商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身に付け、社会的責任を理解する姿勢を育む

科目 ネットワーク活用 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ネットワークを用いたビジネスと電子決済の方法を理解し、実務に即した電子取引サイトの制作や、集客方法などの関連技術を身に付けている	ネットワークを用いたビジネスと関連技術、電子取引サイトの制作や集客、科学的根拠に基づいた情報発信などについて表現し、評価・改善している	電子取引サイトの制作や集客方法について自ら学び考察し、ネットワークを用いたビジネスについて、適切な情報発信に主体的かつ協働的に取り組んでいる

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【単元1】 1 章 情報通信技術の進歩と ビジネス 【知識及び技能】 1 節 ICTにより創造される 新しいビジネス 【思考力、判断力、表現力等】 1 節 ICTにより創造される 新しいビジネス 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協 働的に取り組む態度を身に付ける	情報通信技術の進歩に伴うビジネスが変 化していることを学ぶ ビジネスの形態や組織内におけるビジネ スの進め方が変化していることを学ぶ 情報通信ネットワークに関する技術をビ ジネスに活用することの重要性を理解す る 電子取引サイトの制作やネットワーク を用いたビジネスについて、意欲的な取 組みに努力する	【知識・技能】 実務に即した電子取引サイ トの制作や、関連する技術に ついての理解・習得に努力が 必要である 【思考・判断・表現】 電子取引サイトの制作と集 客方法について、必要な情報 を収集・表現し、評価・改善 することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子取引サイトの制作や ネットワークを用いたビジネ スについて、意欲的な取り組 みに努力が必要である	○	○	○	6
	【単元2】 2 節 個人情報と知的財産の保護 【知識及び技能】 ビジネスを展開する際に留意すべき個人 情報や知的財産の保護の概要を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 留意すべき個人情報や知的財産の保護の 概要を学び、その重要性を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協 働的に取り組む態度を身に付ける	個人情報や知的財産の概要と、それを保 護することの重要性を理解している 情報通信技術を活用する際に留意すべき 個人情報や知的財産の取り扱い方を具体 的事例で考察する 留意すべき個人情報や知的財産の取り扱 い方を具体的事例で考察し、説明するこ とができる 電子取引サイトの制作やネットワーク を用いたビジネスについて、意欲的な取 組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子取引サイ トの制作や、関連する技術に ついての理解・習得に努力が 必要である 【思考・判断・表現】 電子取引サイトの制作と集 客方法について、必要な情報 を収集・表現し、評価・改善 することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子取引サイトの制作や ネットワークを用いたビジネ スについて、意欲的な取り組 みに努力が必要である	○	○	○	9
	【単元3】 3 節 関連法規とガイドライン 【知識及び技能】 インターネットを活用したビジネスに関 する法規やガイドラインの概要を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する法規やガイドラインの 概要を学び、その必要性を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協 働的に取り組む態度を身に付ける	情報セキュリティや電子取引に関する 法規やガイドラインの必要性 ビジネスに情報通信技術を活用する際に 守るべき法規やガイドラインの概要と、 その必要性を理解している 具体的な課題と関連付けて考察し、説明 することができる 電子取引サイトの制作やネットワーク を用いたビジネスについて、意欲的な取 組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子取引サイ トの制作や、関連する技術に ついての理解・習得に努力が 必要である 【思考・判断・表現】 電子取引サイトの制作と集 客方法について、必要な情報 を収集・表現し、評価・改善 することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子取引サイトの制作や ネットワークを用いたビジネ スについて、意欲的な取り組 みに努力が必要である	○	○	○	9

2 学 期	【単元(4)】 2章 情報コンテンツの制作 1節 図形と静止画 【知識及び技能】 情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 基礎的な知識を理解するとともに、それらを作成・編集する技術を身につける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	図形と静止画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 情報コンテンツについて、主体的に取り組む、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 情報コンテンツについて、作成・編集するための基本的な技術を身につける 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	9
	【単元(5)】 2節 音声と動画 【知識及び技能】 音声と動画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 情報コンテンツについて、作成・編集するための基本的な技術を身につける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	音声と動画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 音声と動画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 情報コンテンツについて、主体的に取り組む、基本的な技術を身につけることができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	5
	【単元(6)】 3章 企業情報の発信とWebデザイン 1節 Webページの制作とデザイン 【知識及び技能】 Webページの制作とデザインについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 Webページ制作について必要な基本的な知識と技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	企業情報の発信について有用なWebサイトおよびWebページを考える Webページの制作について理解するとともに、有用なWebサイトおよびWebページを考えることができたか 企業名やロゴマークを適切に表現し、主体的な取り組みが出来たか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	5
	【単元(7)】 3章 企業情報の発信とWebデザイン 2節 Webページ制作の基礎 【知識及び技能】 タグの直接入力による基本的なWebページ制作のための知識と技術を身に付ける身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 CSSとJavaScriptを用いて、目的に応じた適切なWebページを制作する知識と技術を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	基本的なHTMLのタグについて理解する 企業情報の発信について有用なWebサイトを作成する技術を身に付けることができる CSSとJavaScript適用し企業にとって効果的なWebページとして適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	9
	【単元(8)】 【知識及び技能】	基本的なHTMLのタグについて理解する 企業情報の発信について有用なWebサイトを作成する技術を身に付けることができる	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である				

【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	CSSとJavaScript適用し企業にとって効果的なWebページとして適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか	各分野について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である	○	○	○	8
	電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である				
【単元9】 3 節 Webページ制作の応用 【知識及び技能】 CMSを利用する意義や利点を理解するとともに適切に用いて、Webサイト構築をする技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 CMSを用いて、目的に応じた適切なWebサイトを作成する知識と技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	Webサイトを構築する技術を身に付けることができたか。	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である				
	CMSの仕組みや利用する利点を理解するとともに適切に用いてWebサイトを構築する技術を身に付けることができたか	【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である	○	○	○	8
	CMSを効果的に用いて企業にとって情報の発信に有用なWebサイトとして適切に表現ができたか	【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である				
	電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である				
【単元10】 4 章 インターネットと情報セキュリティ 1 節 インターネットのしくみ 【知識及び技能】 インターネットの仕組み、ビジネスにおいてインターネットを活用する利点を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 インターネットサービスプロバイダの役割と業務について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	インターネットとネットワークの仕組みを理解することができたか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である				
	科学的な根拠に基づいてインターネットを活用する利点及びインターネットサービスプロバイダの役割と業務について、課題を発見できたか	【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である	○	○	○	5
	創造的に解決するために、組織の一員として、主体的に取り組む考察できたか	【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である				
	電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である				
【単元11】 2 節 ハードウェアとソフトウェアの導入 【知識及び技能】 ビジネスにおいてインターネットを活用するために必要なハードウェアとソフトウェアの種類と機能を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータをインターネットに接続する手順と方法について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	ハードウェアとソフトウェアの種類と機能及び接続する手順と方法について理解する	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である				
	インターネットを活用するために必要なハードウェアとソフトウェアの種類と機能を理解できたか	【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である	○	○	○	5
	企業活動の改善に対する要求に基づいて適切な環境を構築するための手法を理解できたか	【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である				
	電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である				
【単元12】 3 節 情報セキュリティの確保 【知識及び技能】 ビジネスにおいてインターネットを活用する際の情報セキュリティの確保について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 企業における具体的な事例と関連付けて理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	情報セキュリティの意義と確保について理解する	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である				
	インターネットを活用する際の情報セキュリティの確保について自ら学び、実務に即して理解できたか	【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である	○	○	○	4
	企業における具体的な事例と関連付けて、組織の一員として考察することができたか	【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である				
	電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である				

	説明に取組む態度を身に付ける		みに努力が必要である				
3 学 期	【単元13】 5 章 電子商取引とビジネス 1 節 ネットワークを用いた ビジネスと電子決済 【知識及び技能】 電子商取引の意義や役割について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 代金決済方法について電子的データの交換を行う電子決済のしくみを習得する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	企業間取引、企業対消費者間の商取引における契約方法について理解する ネットワークを用いたビジネスの方法を理解することができたか 電子決済のしくみ、決済方法についての手順や内容について理解することができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	6
	【単元14】 2 節 電子商取引サイトの開店準備 【知識及び技能】 電子商取引サイト開業に必要な手順を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 店舗運営を行うための基礎的な知識を習得する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	電子商取引のしくみや開発に興味を持ち、電子商取引開設のための手順を理解する 電子商取引開設のための手順を理解する 店舗運営を行うための基礎的な知識について理解することができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7
	【単元15】 3 節 Webページ制作と集客方法 【知識及び技能】 電子商取引を行うためのシステム構築方法を理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 Webページ作成ソフトウェアやフリーソフトウェアを使って構築する技法を習得する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	電子商取引を行うためのシステム構築方法を理解できたか 実習に積極的に取り組み、電子商取引を行うためのシステム構築方法を理解することができたか 環境に適したソフトウェアを用いて、電子商取引サイトを構築する技法を考察することができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	6
	【単元16】 4 節 ビジネスの創造 【知識及び技能】 インターネットを活用したビジネスの動向や展望について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 新たなビジネスの創造について進化するAIの活用方法について習得する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	インターネットを活用したビジネスの動向について理解することができたか ビジネスの動向についてIoTの実装によって電子商取引市場の進展の可能性について理解することができたか 新たなビジネスの創造について考え、インターネットを活用した新たなビジネスモデルについて理解することができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	4
				○	○	○	105

高等学校 令和7年度 3 学年用 教科 商業 科目 ビジネス文書Ⅱ

教科： 商業 科目： ビジネス文書Ⅱ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキルを理解し、実務に活かす能力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 ビジネス文書Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネス文書の種類や目的、文書の構成要素、敬語や用語の使い方、形式的なルールなどを体系的に学び、社会で求められる正確かつ明確な文書を作成する力を身につける。加えて、パソコンなどのICT機器を活用した文書作成の技能も習得する。	相手や目的、場面に応じた文書の内容や表現方法を考え、必要な情報を取捨選択しながら論理的に組み立て、分かりやすく表現する力を育てる。実践的な課題に対応する中で、適切に判断し、相手に伝わる文章を構成する力を養う。	ビジネス文書を通じて相手に配慮した丁寧な表現やマナーを学び、思いやりや責任感、誠実さなど社会人としての人間性を育む。また、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲や、継続的に学び続ける姿勢を大切にする力を育成する。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元(1)】 ワープロソフトの基本	タッチメソッドの基本 ・ホームポジションを習得する ・正確にキータッチする	【知識・技能】 タッチタイピングのホームポジションを理解することができる。				40
	【知識及び技能】 ビジネス文書作成において速度や用語の使い方、形式を理解できるようにする	ワープロソフトの基本 ・ワープロソフトの基本設定 ・文字の入力	【思考・判断・表現】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組むことができる。	○	○	○	
	【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた文書作成を考え、必要な情報を取捨選択し、表現できるようにする	ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入	【主体的に学習に取り組む態度】 タッチタイピングを習得しようという意欲をもって取り組むことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮した表現や、学び続ける姿勢を大切にする力を養えるようにする	ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定					
	【単元(2)】 ワープロソフトの基本	タッチメソッドの基本 ・ホームポジションを習得する ・正確にキータッチする	【知識・技能】 タッチタイピングのホームポジションを理解することができる。				40
	【知識及び技能】 ビジネス文書作成において速度や用語の使い方、形式を理解できるようにする	ワープロソフトの基本 ・ワープロソフトの基本設定 ・文字の入力	【思考・判断・表現】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組むことができる。	○	○	○	
	【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた文書作成を考え、必要な情報を取捨選択し、表現できるようにする	ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入	【主体的に学習に取り組む態度】 タッチタイピングを習得しようという意欲をもって取り組むことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮した表現や、学び続ける姿勢を大切にする力を養えるようにする	ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定					
2 学期	【単元(7)】 ワープロソフトの基礎・応用	タッチメソッドの基本・応用 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。				40
	【知識及び技能】 ビジネス文書作成において速度や用語の使い方、形式を理解できるようにする	ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入	【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。	○	○	○	
	【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた文書作成を考え、必要な情報を取捨選択し、表現できるようにする	ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定	【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮した表現や、学び続ける姿勢を大切にする力を養えるようにする	検定問題の取り組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術					

3 学 期	【単元⑧】 ワープロソフトの基礎・応用	タッチメソッドの基本・応用 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。	○	○	○	
	【知識及び技能】 ビジネス文書作成において速度や用語の使い方、形式を理解できるようにする	ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入	【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた文書作成を考え、必要な情報を取捨選択し、表現できるようにする	ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定	【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮した表現や、学び続ける姿勢を大切にする力を養えるようにする	検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術					
	【単元⑬】 企業活動における文書作成	各種文書の作成	【知識・技能】 各種文書の用途や違いを理解することができる。	○	○	○	25
	【知識及び技能】 各種文書の用途や違いを理解する	文書の構成	【思考・判断・表現】 文書の校正作業を自ら判断し作成することができる。				
	【思考力、判断力、表現力等】 文書の校正作業を自ら判断し作成する。	文書の校正作業	【主体的に学習に取り組む態度】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつ	各種文書の作成・文書の構成・文書の校正作業					
	【単元⑭】 企業活動における文書作成	各種文書の作成	【知識・技能】 各種文書の用途や違いを理解することができる。	○	○	○	
	【知識及び技能】 各種文書の用途や違いを理解する	文書の構成	【思考・判断・表現】 文書の校正作業を自ら判断し作成することができる。				
	【思考力、判断力、表現力等】 文書の校正作業を自ら判断し作成する。	文書の校正作業	【主体的に学習に取り組む態度】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつ	各種文書の作成・文書の構成・文書の校正作業					
							105